

まちだの子ども施策

2005（平成17）年度

町田市子ども生活部

目 次

1. 市域	
(1) 市の概要	1
(2) 東京都における位置	1
2. 市の人口と世帯	2
(1) 人口と世帯数の推移	2
(2) 年齢3区分別人口割合	2
(3) 年齢階級別人口	3
3. 一般会計等歳入歳出決算額	4
(1) 一般会計歳入歳出決算額	4
歳入	4
歳出	5
民生費・衛生費の推移	6
(2) 子ども生活部予算	7
4. 子ども生活部組織図	8
5. 子ども施策の体系	9
(1) 町田市基本構想・基本計画(抜粋)	9
(2) 実施計画(抜粋)	10
6. 児童福祉	11
(1) 町田市子どもマスタープラン	11
町田市子どもマスタープラン施策体系	12
(2) 合計特殊出生率の推移	13
(3) 児童人口の現況	13
(4) 就学前児童の状況	14
(5) 保育園	14
認可保育園	14
(ア)入所資格と入所状況	14
(イ)特別保育	16
認可外保育	16
(ア)認証保育所	16
(イ)保育室	16
(ウ)家庭福祉員	17
保育園・幼稚園への障がい児通園促進	17
(6) 子ども家庭支援センター	17
(7) その他の保育サービス	18
病後児保育	18
(8) 学童保育クラブ、子どもセンター、子どもクラブ	20
学童保育クラブ	20
子どもセンター、子どもクラブ利用者数	21
地域への事業	22
(9) 児童に関する手当・医療助成制度	23
児童手当・特例給付	23
乳幼児の医療費の助成	23
入院助産	24
(10) ひとり親に関する手当・医療助成制度	24
児童扶養手当	24
児童育成手当(育成手当・障害手当)	25
ひとり親家庭等の医療費助成	26
母子生活支援施設	26
母子相談	26
東京都母子・女性福祉資金貸付	26
ひとり親家庭へのホームヘルパーの派遣	27
ひとり親家庭資格取得講習受講料助成	27

7 . 障がい福祉	28
(1) 町田市障がい者計画 (概要)	28
(2) 障がい児・者に関する各種手当・制度	28
特別児童扶養手当	28
心身障害者福祉手当	28
障害児福祉手当	29
特別障害者福祉手当	29
経過的福祉手当	30
町田市重度心身障がい児童福祉手当	30
重度心身障害者手当	30
東京都心身障害者扶養年金	31
(3) 町田市子ども発達センターすみれ教室	31
目的・沿革	31
園児の状況	32
紹介機関	33
退園後の状況	33
プールの利用状況	34
(4) 障がい児就学相談、障がい学級	34
8 . 保健医療	36
(1) 保健・医療の現況	36
(2) 予防接種事業	36
予防接種	36
ツベルクリン反応検査及びBCG接種	36
予防接種助成	37
(3) 母子健康診査事業	38
母子健康手帳の交付	38
妊産婦健康診査	38
乳幼児健康診査	38
妊婦・乳幼児精密健康診査	40
(4) 母子保健指導事業	40
幼児歯科健康診査	40
妊婦歯科健康診査	41
母親学級	41
健康教育・相談	42
乳幼児栄養食品支給	42
(5) 母子保健訪問指導事業	43
訪問指導	43
(6) 救急医療対策事業	43
9 . 教育	44
(1) 教育委員会・教育目標	44
(2) 幼稚園	44
預かり保育	44
幼稚園就園奨励費補助	45
私立幼稚園等園児保護者補助	45
幼児教育手当	46
(3) 青少年教育事業	47
(4) 青少年健全育成地区委員会	48
(5) 巡回相談員	49
巻末資料	
(1) 保育園位置図 一覧表	
(2) 学童保育クラブ/子どもセンター/子どもクラブ位置図 一覧表	
(3) 幼稚園位置図 一覧表	

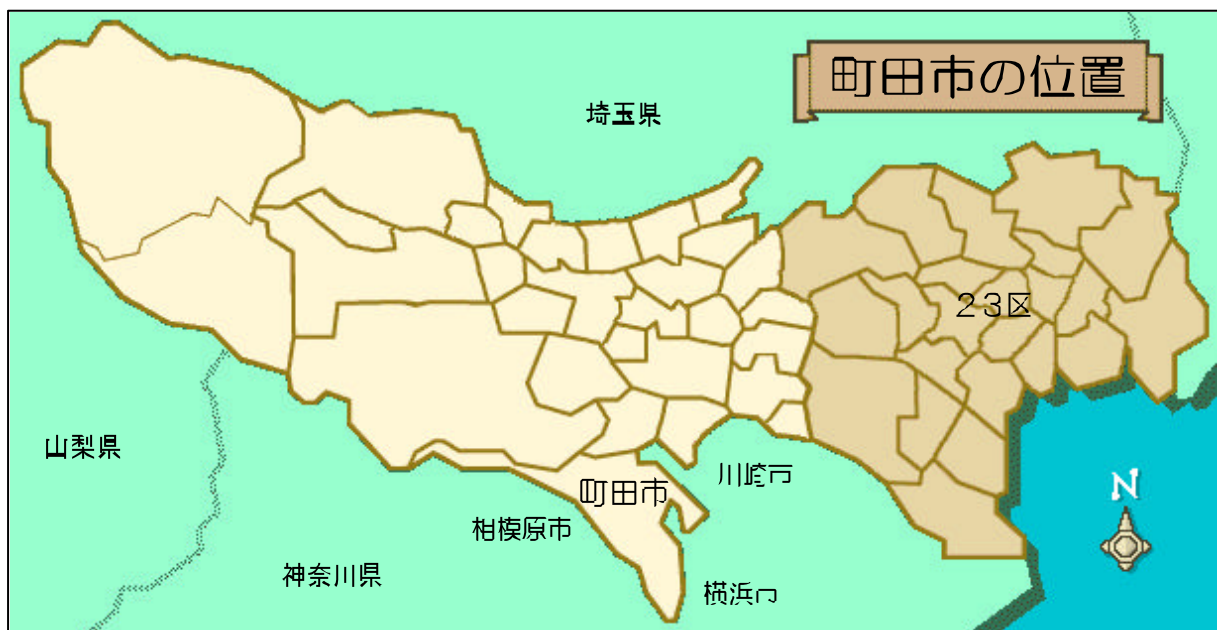
1. 市域

(1) 市の概要

区 分	内 容
市 制 施 行	1958年2月1日東京都で9番目、全国で504番目に市制施行。
位 置 ・ 地 勢	東京都の南端にあつて、半島のように神奈川県に突き出しています。市のほぼ全域が多摩丘陵に含まれ、市域の平面形は丘陵の西南線に沿う狭長な形態になっています。 地質は、主として表面5～15mの関東ローム層におおわれています。
広 ば う	東西22.3km 南北13.2km
海 抜	最高363m 最低27m
面 積	71.63km ² (2005年1月1日現在)
世 帯 数	166,583世帯 (2005年1月1日現在)
人 口	406,281人 (2005年1月1日現在)
人 口 密 度	5,672人/km ² (2005年1月1日現在)

世帯数・人口・人口密度：外国人含む

(2) 東京都における位置



2. 市の人口と世帯

(1) 人口と世帯数の推移

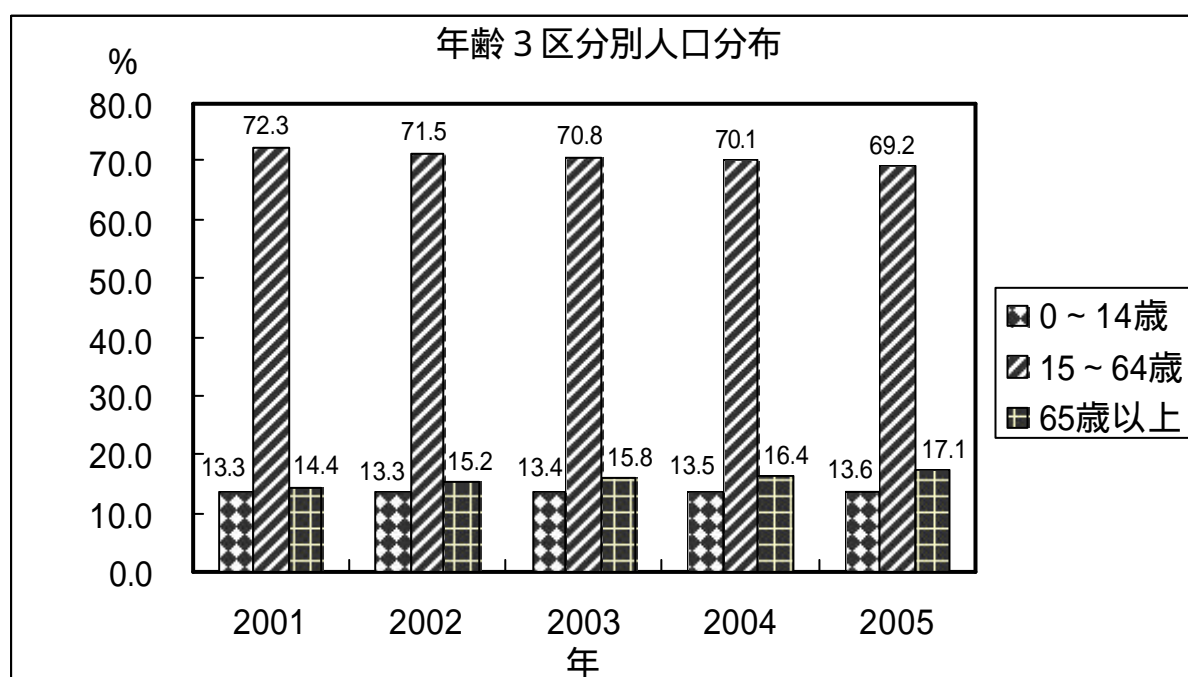
(各年1月1日現在 外国人含む)

区分 年	世帯数(世帯)	人口		
		総数	男	女
2001	149,594	379,147	188,794	190,353
2002	153,755	385,689	191,731	193,958
2003	158,536	393,666	195,489	198,177
2004	163,325	401,672	199,154	202,518
2005	166,583	406,281	201,065	205,216

(2) 年齢3区分別人口割合

(各年1月1日現在 外国人含む)

区分 年	0～14歳	15～64歳	65歳以上	合計
2001	13.3	72.3	14.4	100.0
2002	13.3	71.5	15.2	100.0
2003	13.4	70.8	15.8	100.0
2004	13.5	70.1	16.4	100.0
2005	13.6	69.2	17.1	100.0

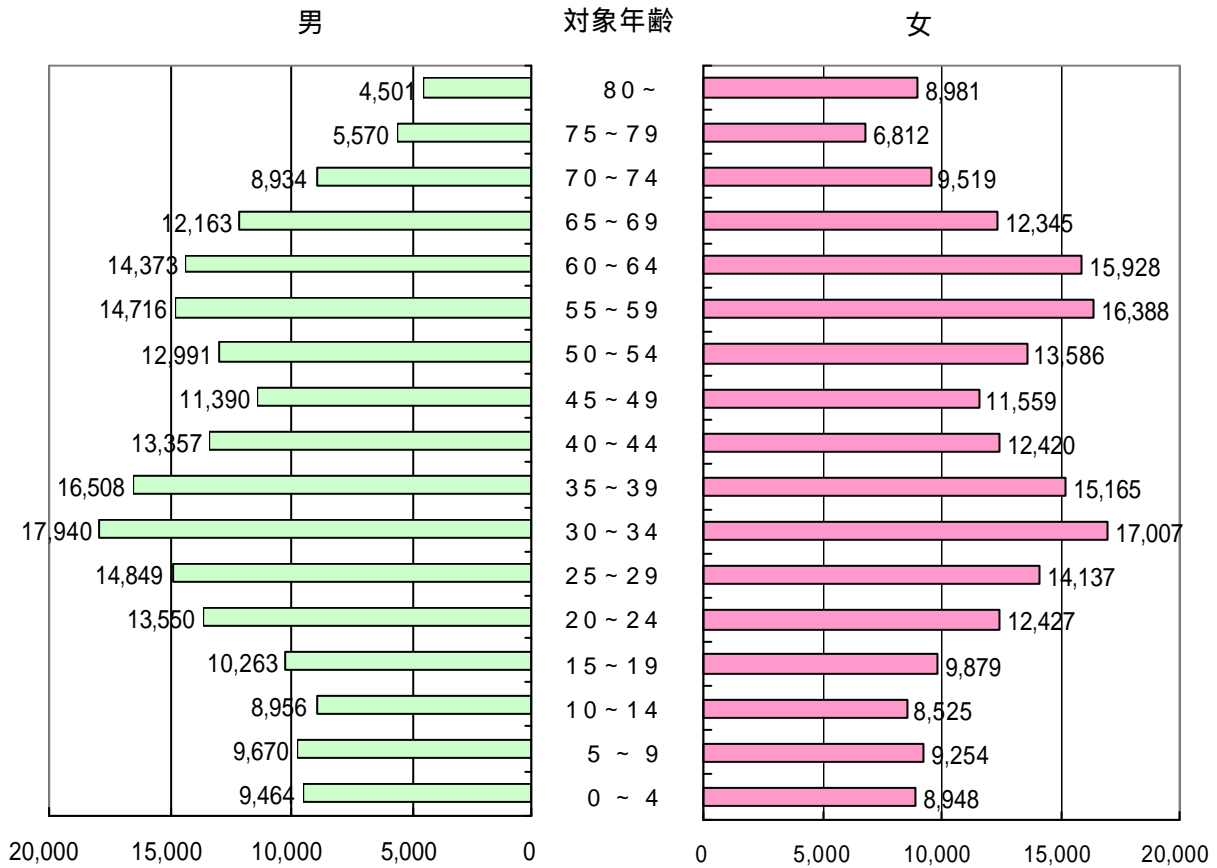


(3) 年齢階級別人口

(2005年1月1日現在住民基本台帳登録数 単位:人)

年齢	総数	男	女	年齢	総数	男	女
0 ~ 4	18,412	9,464	8,948	45 ~ 49	22,949	11,390	11,559
5 ~ 9	18,924	9,670	9,254	50 ~ 54	26,577	12,991	13,586
10 ~ 14	17,481	8,956	8,525	55 ~ 59	31,104	14,716	16,388
15 ~ 19	20,142	10,263	9,879	60 ~ 64	30,301	14,373	15,928
20 ~ 24	25,977	13,550	12,427	65 ~ 69	24,508	12,163	12,345
25 ~ 29	28,986	14,849	14,137	70 ~ 74	18,453	8,934	9,519
30 ~ 34	34,947	17,940	17,007	75 ~ 79	12,382	5,570	6,812
35 ~ 39	31,673	16,508	15,165	80 ~	13,482	4,501	8,981
40 ~ 44	25,777	13,357	12,420	合計	402,075	199,195	202,880

人口の年齢階級別男女分布



3. 一般会計等歳入歳出決算額

(1) 一般会計歳入歳出決算額

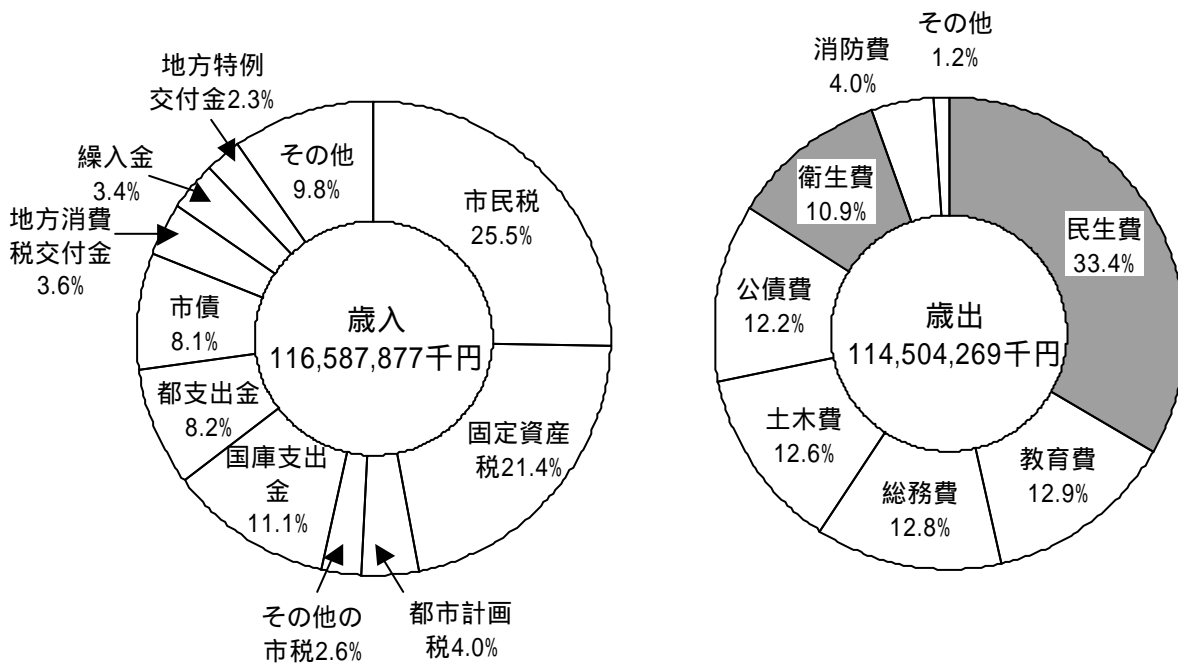
歳入

区分	2003年度	2004年度	2005年度	構成比		
	決算額(A)	決算額(B)	当初予算額(C)	A	B	C
	千円	千円	千円	(%)		
1 市 税	62,393,006	62,342,855	62,146,506	54.8	53.5	56.6
市 民 税	30,095,543	29,763,332	29,622,465	26.4	25.5	27.0
固 定 資 産 税	24,577,864	24,929,314	24,912,912	21.6	21.4	22.7
軽 自 動 車 税	198,033	212,154	218,648	0.2	0.2	0.2
市 た ば こ 税	1,992,538	2,039,943	1,993,937	1.8	1.8	1.8
特 別 土 地 保 有 税	48,194	1,928	134	0.0	0.0	0.0
入 湯 税	923	893	916	0.0	0.0	0.0
事 業 所 税	785,034	676,852	709,612	0.7	0.6	0.6
都 市 計 画 税	4,694,877	4,718,440	4,687,882	4.1	4.0	4.3
2 地 方 譲 与 税	864,290	1,530,032	2,215,000	0.8	1.3	2.0
3 利 子 割 交 付 金	683,671	572,842	343,183	0.6	0.5	0.3
4 配 当 割 交 付 金	—	150,040	153,128	—	0.1	0.1
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	—	155,554	115,390	—	0.1	0.1
6 地 方 消 費 税 交 付 金	3,693,027	4,153,769	3,903,310	3.2	3.6	3.6
7 ゴルフ場利用税交付金	47,130	54,511	51,000	0.0	0.0	0.0
8 特別地方消費税交付金	0	0	0	0.0	0.0	0.0
9 自動車取得税交付金	1,057,774	932,561	903,448	0.9	0.8	0.8
10 地方特例交付金	2,808,326	2,732,603	2,732,000	2.5	2.3	2.5
11 地方交付税	97,006	78,029	81,000	0.1	0.1	0.1
12 交通安全対策特別交付金	86,608	84,619	80,000	0.1	0.1	0.1
13 分担金及び負担金	780,435	813,804	912,543	0.7	0.7	0.8
14 使用料及び手数料	1,921,655	2,088,391	2,768,956	1.7	1.8	2.5
15 国庫支出金	13,426,561	12,913,315	13,028,929	11.8	11.1	11.9
16 都 支 出 金	9,792,521	9,569,819	9,413,453	8.6	8.2	8.6
17 財 産 収 入	1,262,068	1,345,817	898,265	1.1	1.2	0.8
18 寄 付 金	312,811	15,595	2	0.3	0.0	0.0
19 繰 入 金	5,025,714	3,915,520	4,340,962	4.4	3.4	4.0
20 繰 越 金	1,596,569	2,383,398	500,000	1.4	2.0	0.4
21 諸 収 入	1,922,978	1,261,704	1,300,228	1.7	1.1	1.2
22 市 債	6,077,200	9,493,100	3,971,600	5.3	8.1	3.6
合 計	113,849,350	116,587,877	109,858,903	100.0	100.0	100.0

歳出

区分	2003年度	2004年度	2005年度	構成比		
	決算額(A)	決算額(B)	当初予算額(C)	A	B	C
	千円	千円	千円	%		
1 議会費	609,024	609,862	637,593	0.5	0.5	0.6
2 総務費	16,607,931	14,692,017	12,578,657	14.9	12.8	11.4
3 民生費	36,176,333	38,291,427	39,912,546	32.5	33.4	36.3
4 衛生費	11,962,918	12,520,132	12,475,985	10.7	10.9	11.3
5 労働費	71,756	58,738	57,658	0.1	0.1	0.0
6 農林費	220,358	208,010	221,051	0.2	0.2	0.2
7 商工費	494,176	480,182	509,821	0.4	0.4	0.5
8 土木費	16,605,528	14,404,352	14,913,302	14.9	12.6	13.6
9 消防費	4,855,113	4,511,249	4,703,255	4.4	4.0	4.3
10 教育費	16,323,346	14,815,738	15,443,152	14.6	12.9	14.1
11 災害復旧費	0	0	8	0.0	0.0	0.0
12 公債費	7,539,469	13,912,563	8,305,875	6.8	12.2	7.6
13 予備費	0	0	100,000	0.0	0.0	0.1
合計	111,465,952	114,504,269	109,858,903	100.0	100.0	100.0

一般会計歳入歳出決算の構成(2004年度)



民生費・衛生費の推移

区 分	2003年度	2004年度	2005年度
	決算額(千円)	決算額(千円)	当初予算額(千円)
民 生 費	36,176,333	38,291,427	39,912,546
社 会 福 祉 費	16,297,555	17,053,391	17,385,634
社会福祉総務費	1,593,237	1,225,338	1,405,888
民生委員費	54,614	55,082	58,774
身体障がい者福祉費	397,938	328,039	326,391
知的障がい者福祉費	84,339	90,783	95,865
心身障がい者福祉費	4,967,529	5,126,617	5,366,977
高齢者福祉費	5,731,240	6,118,115	6,299,854
高齢者福祉センター費	152,778	125,805	158,078
授産センター費	201,055	222,347	173,757
国民健康保険費	3,114,825	3,761,266	3,500,050
児童福祉費	11,980,640	13,106,871	13,666,573
生活保護費	7,814,964	8,049,050	8,775,801
うち扶助費	7,543,183	7,744,775	8,444,918
国民年金費	82,384	80,915	83,601
災害救助費	790	1,200	937
衛 生 費	11,962,918	12,520,132	12,475,985
保健衛生費	4,488,866	5,336,609	4,393,265
病院費	1,653,145	1,371,494	1,372,665
清掃費	5,820,907	5,812,029	6,710,055
4月1日現在人口	396,278人	401,875人	406,092人
市民一人当たり民生費	91,290円	95,282円	98,284円
市民一人当たり衛生費	30,188円	31,154円	30,722円

「まちだの子ども施策 2004年度版」までは住民基本台帳登録数を基に市民一人当たりの民生費及び衛生費を算出していましたが、2005年度版からは外国人を含む市内全人口数を基に算出しています。

(2) 子ども生活部予算

(単位：千円)

子育て支援 経済的な負担軽減をめざす支援

主 な 内 容	2004年度	2005年度
子育ての経済支援 一定所得以下の保護者に		
児童手当支給(国)	1,220,894	1,418,628
児童育成手当支給(都)(父が重度の障がいの方も該当)	882,991	976,950
児童扶養手当支給(国)	1,239,722	1,300,056
医療費の負担軽減と障がい児(者)への支援		
乳幼児医療助成(都・市)	709,351	752,697
ひとり親家庭医療費助成(都)	120,062	127,819
障がい児通園促進(市)	45,420	52,596
心身障害者福祉手当支給(都・市)	986,180	897,360
在宅重度障害者福祉手当支給(国)	265,681	266,394
重度心身障がい児福祉手当支給(市)	9,024	5,400
子育て教育費の負担軽減支援		
幼稚園の保護者負担軽減のための補助		
私立幼稚園等園児保護者補助(都・市)	506,646	542,113
幼稚園就園奨励(国)	329,734	352,863
幼稚園児童の健康管理(市)	23,606	23,034
地域での子育て支援の相談や地域活動の支援		
青少年育成地区活動(市)	5,710	6,106
巡回相談(市)	5,652	6,102
児童の放課後の生活の充実を支える		
学童保育事業の運営(市)	408,506	526,961
公設学童保育クラブ新設(市)	45,886	54,906

子育て支援 地域での子どもたちの活動支援

主 な 内 容	2004年度	2005年度
地域での子育て支援の拠点整備		
子どもセンター「ばあん」(市)	17,785	17,802
子どもセンター「つるっこ」(市)*2005年4月オープン	354,965	18,082

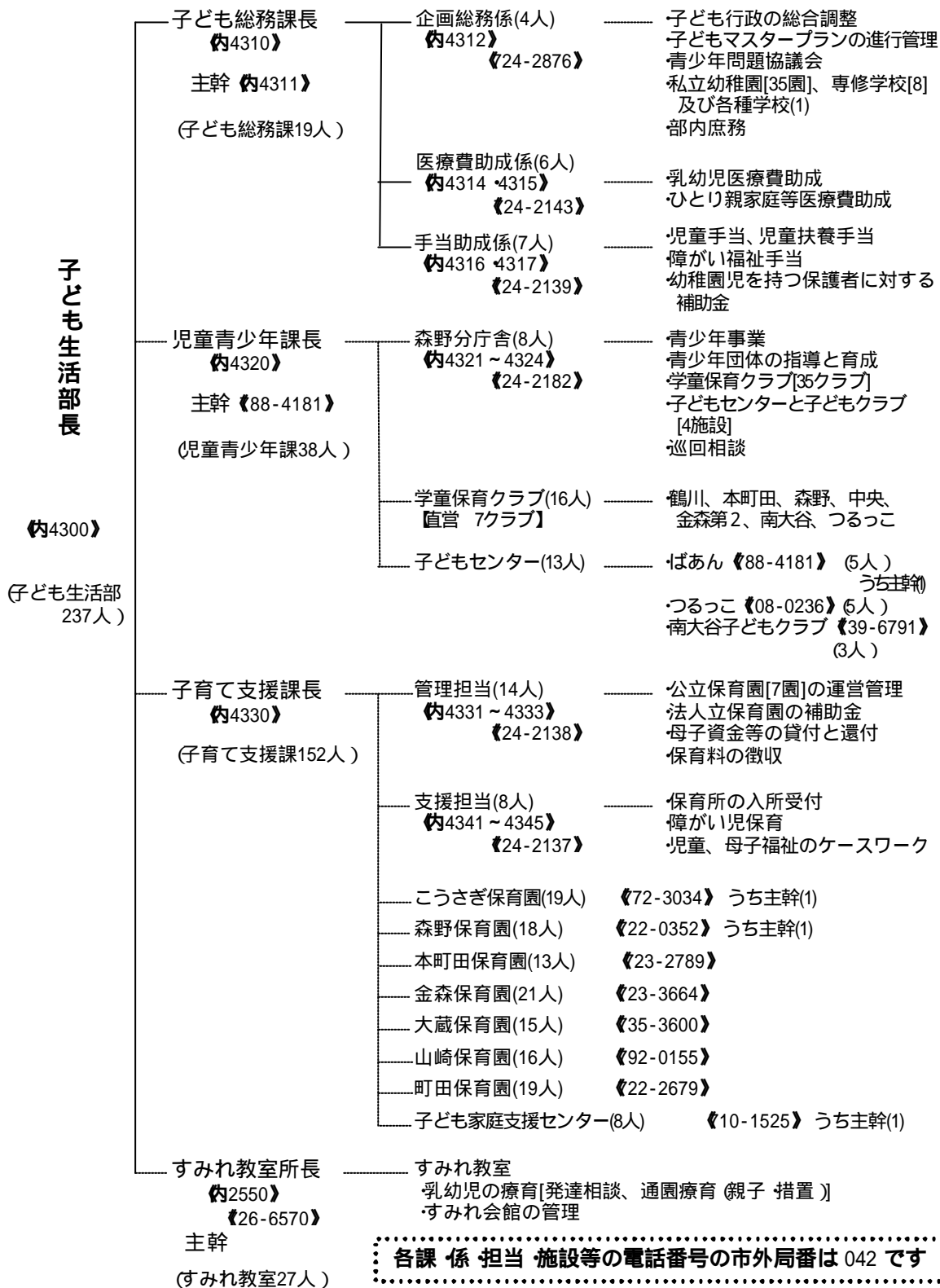
子育て支援 保育での支援

主 な 内 容	2004年度	2005年度
子育て支援サービス		
子ども家庭支援センター管理	7,788	7,866
子ども在宅サービス(都)	10,364	10,364
ひとり親家庭の援護(都)	17,014	15,239
ファミリーサポートセンター(国、都)	9,178	11,225
子ども家庭支援センター(都)	1,946	3,079
家庭福祉員(都)	7,796	7,796
契約保育室保育(都)	24,285	27,711
認証保育所(都)	115,121	216,395
病後児保育(都)	30,777	41,251
母子生活支援助産施設(国、都)	17,156	26,413
保育園での子育て支援		
法人立保育園の運営(国、都、市)	5,093,740	5,631,848
法人立保育園への整備補助(市)	99,137	130,534
公立保育園の運営(国、都、市)	631,743	646,119

4 . 子ども生活部組織図

2020年現在

()=職員数 《 》= 電話番号(内は内線番号)



各課係担当施設等の電話番号の市外局番は 042 です

町田市役所 042-722-3111 (代表)

5. 子ども施策の体系

(1) 町田市基本構想・基本計画(抜粋)

活躍する人が育つまちをつくる

重点目標1 誰もが地域や社会で輝ける環境をつくる

個別目標(1) 充実した時間をすごせる機会を増やす

- ・ 様々な活動をする機会が得られている
- ・ 様々な文化や芸術に触れることができている
- ・ 多くの人々が、好きなことや生きがいをもっている

個別目標(2) 地域や社会で活動できる機会を増やす

- ・ 地域活動、社会活動により地域が活性化している

重点目標2 知識や能力を生かし、社会で活躍できる人を育てる

個別目標(1) 意欲や能力のある人の起業を促進する

- ・ 市内の企業活動が活発になっている
- ・ 市内で働く市民が増えている

個別目標(2) 知識社会に対応した生涯学習を活発にする

- ・ 市民が、仕事や職業に求められる知識や技術を身につけることができている
- ・ IT(情報技術)を使える人が増えている

重点目標3 次世代の社会を担う人を育てる

個別目標(1) 子どもが健やかに育つ環境をつくる

- ・ 子育てしやすい環境が整っている
- ・ 地域が子育てを見守っている
- ・ 子どもどうしが触れあっている
- ・ 子どもへの虐待がない
- ・ 子どもが増えている

個別目標(2) 子どもが様々な体験ができる機会をふやす

- ・ 子どもが自らの目標を見つけている
- ・ 子どもが自ら進んでいろいろなことに挑戦している
- ・ 子どもが地域社会との関わりを持っている

個別目標(3) 子どもがもつ力を発揮できる教育を行う

- ・ 子どもが社会性を身につけている
- ・ 子どもが能力に応じた教育を受けている
- ・ 子どもが学習に興味を持ち楽しんで学んでいる

(2) 実施計画(抜粋)

「子どもが自分らしく安心して暮らせるまちをみんなで創り出す(町田市子どもマスタープランの基本理念)」ため、未来を担う子どもたちが、健やかで心豊かに成長し、親たちが安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを目指し、保育にかける乳幼児の健全育成のための多様な保育サービスの充実や、保護者の子育てに対する精神的・身体的負担を軽減するための支援の充実に努めます。

学童保育クラブは「一小学校区一学童保育クラブ」を目標に、今後の需要を見極めながら整備を図ります。また、老朽化したクラブについても計画的に整備を進め、保育内容の充実に努めます。

計画内容	2005年度	2006年度	2007年度	備考
(1)子ども行政の総合的施策化 《子ども総務課》 子どもマスタープランの推進	推進	→	→	04年度策定
(2)子育てと仕事の両立の支援 《子育て支援課》 ・法人立保育園整備への補助 ・公立保育園の整備 ・公立保育園での子育て支援 《児童青少年課》 ・公設学童保育クラブの整備 ・指定管理者への学童保育事業の委託 《子ども総務課》 幼稚園預かり保育の充実	新設1園 改築1園 分園1ヶ所 駐車場整備1園 延長保育(15時間開所) 休日・年末保育 新設2クラブ 委託 事業費補助	改築2園 分園1ヶ所 検討1園 → → 新設1クラブ → →	改築1園 検討2園 → → 新設2クラブ → →	03年度から実施 03年度から実施 05年度から実施
(3)子育て家庭への支援 《子育て支援課》 ・認証保育所への支援 《児童青少年課》 ・子どもセンターの整備 鶴川子どもセンター「つるっこ」 堺地区子どもセンター	運営費補助 設置補助 開館 管理運営 基本設計	→ → 管理運営 実施設計	→ → → 建設工事	05年度開館

6. 児童福祉

(1) 町田市子どもマスタープラン

策定の経過

子どもを取り巻く社会状況の変化に伴い、子どもと子育て家庭への支援に対する市民のニーズが変化しており、従来の「福祉」や「教育」といった枠を超えた体制での施策推進が必要となっています。こうした状況を受け、子ども行政一元化を実施するとともに、町田市としての子ども施策の基本的な方向性を示すために「子どもマスタープラン」を策定しました。

- ・ 2003年11月 学識経験者、関連機関の代表、公募市民等で構成される「町田市子どもマスタープラン審議会」に「マスタープランのあり方」を諮問。
- ・ 2004年 8月 「子どもマスタープラン公聴会」を開催。45名の市民が参加。
- ・ 2004年10月 審議会が「子どもマスタープラン（案）」を市長に答申。
- ・ 2004年12月 子どもマスタープランを策定・公表。

審議会の開催状況

- ・ 審議会（5回） ・ 専門部会（第1、第2、第3） 延べ24回（各8回）
- ・ プランの当事者である子どもの意見を反映させるために設けられた「子ども委員会（公募の中高生で構成）」（10回）

プラン作成の基礎資料とするための調査

- ・ 子どもマスタープラン基礎調査 ・ 次世代育成支援計画調査
- ・ ひとり親家庭の子育てアンケート ・ 国際結婚家庭の子育てアンケート

2003年7月に施行された次世代育成支援対策推進法（平成15年法律第120号）第8条第1項の規定に基づき、市町村行動計画策定が義務づけられたことを受け、「町田市次世代育成対策推進行動計画」を子どもマスタープランに含め策定しました。

子どもマスタープランの推進

子どもマスタープランは、次のように推進します。

- ・ 子ども生活部が中心となり、関連する各課がプランに基づき推進します。
- ・ 子どもマスタープランに基づく推進計画の策定、推進状況の検証、総合調整は、助役を長とする庁内組織「子どもマスタープラン推進委員会（庁内の関連する部長・課長で構成）」が担います。
- ・ 特に検討が必要な事項については、関連する課の職員で構成する作業部会を設置し、検討します。
- ・ 進捗状況について、本書「まちだの子ども施策」で毎年公表します。

町田市子どもマスタープラン施策体系

1. 基本理念 子どもが自分らしく安心して暮らせるまちをみんなで創り出す

2. 基本的な視点

- (1)一人ひとりの子どもの権利実現の視点
- (2)子どもと親がともに成長する視点
- (3)地域の中で家族を孤立させない視点
- (4)市民(子どもと大人)と行政の協働を進める視点

3. 施策体系

基本目標 :子どもが健やかに育ち一人ひとり自分の中に光るものを持っている

重点目標1:子どもの遊びや体験が大切にされ、主体的に参加し意見表明できる

- 個別目標(1):コミュニケーション能力を育てる
- 個別目標(2):参加と意見表明の場や機会をつくる
- 個別目標(3):救済とやり直しの場や機会を保障する

重点目標2:大人になっていく力をつける(市民性の形成を育む)

- 個別目標(1):乳幼児期の養護の充実
- 個別目標(2):幼児教育の充実
- 個別目標(3):学校教育の充実
- 個別目標(4):思春期の子どもの心と身体健康教育
- 個別目標(5):体験活動から学ぶこと(文化・スポーツ活動等)

基本目標 :子どもが安らいでいる家族があり、家族が地域とつながっている

重点目標1:親になる力を身につける

- 個別目標(1):親スタート期を支える
- 個別目標(2):子育て期を支える
- 個別目標(3):男女共同の子育てを進める
- 個別目標(4):親の悩みを支える

重点目標2:親が働くことを支える

- 個別目標(1):保育支援
- 個別目標(2):サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実

重点目標3:きめ細やかな支援が必要な家族を支える

- 個別目標(1):障がいのある子どもと家族への支援
- 個別目標(2):ひとり親家族への支援
- 個別目標(3):外国籍家族への支援
- 個別目標(4):被虐待児(DV家族児童を含む)と家族への支援

基本目標 :子どもが地域の中で大切にされている

重点目標1:人と人が関わりつなげる場をつくる(家庭・施設・学校・地域・行政の協働)

- 個別目標(1):地域の人材育成と人材活用
- 個別目標(2):地元事業所・商店の関わり
- 個別目標(3):体験できる場(多様な体験ができる機会を増やす)
- 個別目標(4):交流できる場(子どもや子育てしている人がふれあい情報交換できる場を増やす)
- 個別目標(5):子どもセンター・地域子育てセンターを中心とした地域づくり

重点目標2:一人ひとりに情報が確実に届く

- 個別目標(1):子どもと親への情報の確保

重点目標3:みんなで安全・安心のまちをつくる

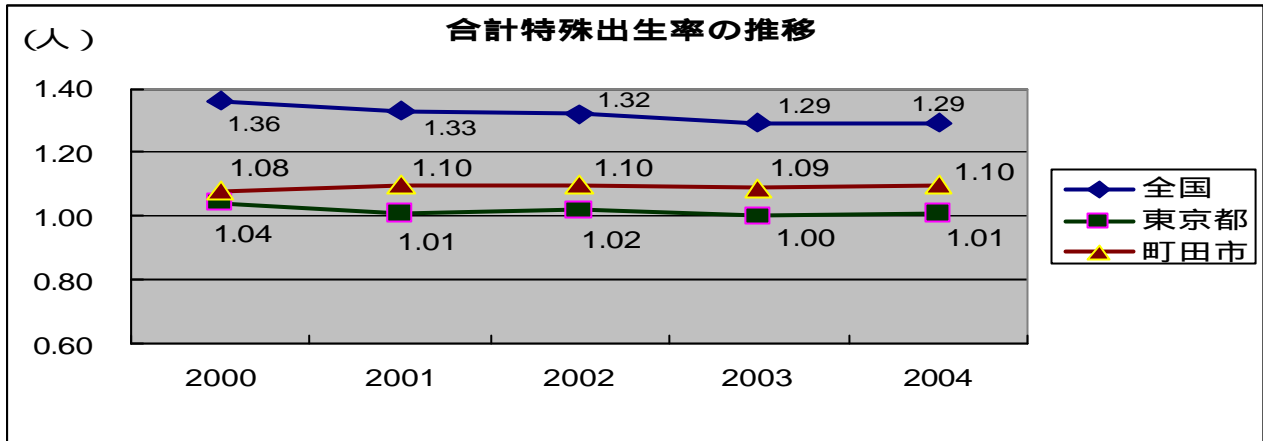
- 個別目標(1):子どもの安全・安心の確保
- 個別目標(2):子育てしやすいまちづくり

(2) 合計特殊出生率の推移

現在の人口を維持するために必要な合計特殊出生率は概ね2.08といわれていますが、町田市の場合、多少の増減はあるものの1.10(2004年)となっています。

【合計特殊出生率の推移】

資料:東京都健康局 衛生統計(人口動態統計)



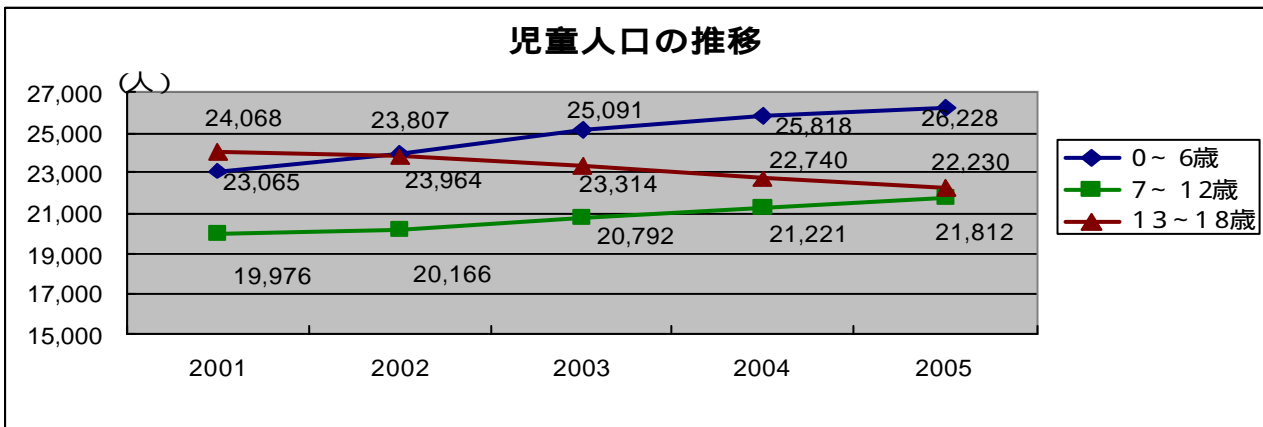
(3) 児童人口の現況

町田市における、2005年4月1日現在の人口は401,855人(住民基本台帳人口)で、このうち0歳から18歳までの児童人口は70,270人(17.5%:全人口比)となり、児童人口そのものは微増しつつも、ゆるやかな少子化(2000年は17.8%)が進行しています。

【児童人口の推移】

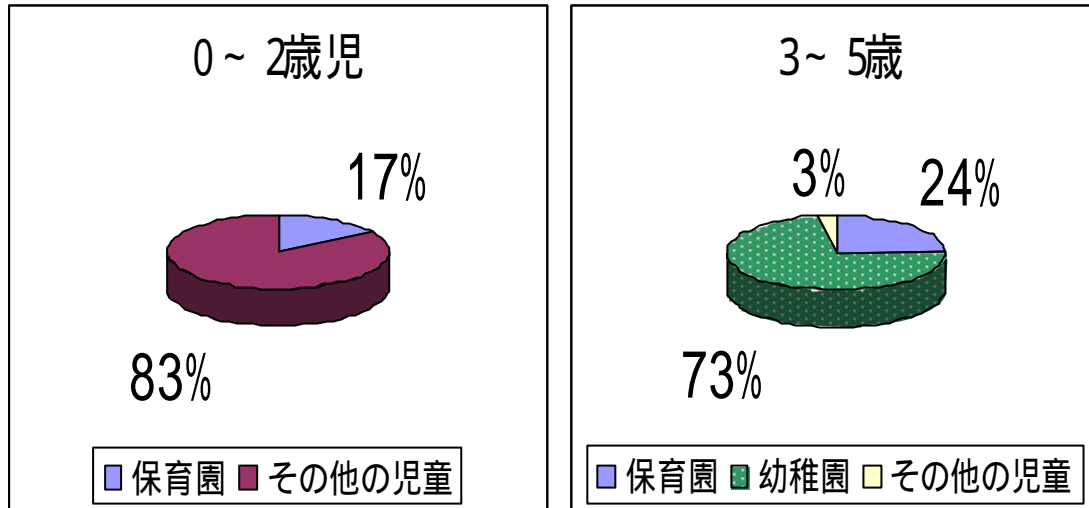
各年4月1日現在 (人)

	0～6歳	7～12歳	13～18歳	合計
2001	23,065	19,976	24,068	67,109
2002	23,964	20,166	23,807	67,937
2003	25,091	20,792	23,314	69,197
2004	25,818	21,221	22,740	69,779
2005	26,228	21,812	22,230	70,270



(4) 就学前児童の状況

町田市の0～2歳児の17%が保育所に入所しています。3～5歳児では、幼稚園に通園する子どもは、73%を占めています。



[基準日：2005年5月1日]

<子育て支援課・子ども総務課>

(5) 保育園 《保育園位置図：巻末を参照してください》

改正男女雇用機会均等法の施行、育児休業制度の普及などを背景にした就労女性人口の増加などにより、子育てと仕事の両立を支援する役割としての保育園の需要が年々高まっています。このような保育需要に対応するため、2004年度は、3園を新設し、それぞれ0歳児保育、一時保育を実施しました。

認可保育園

(ア) 入所資格と入所状況

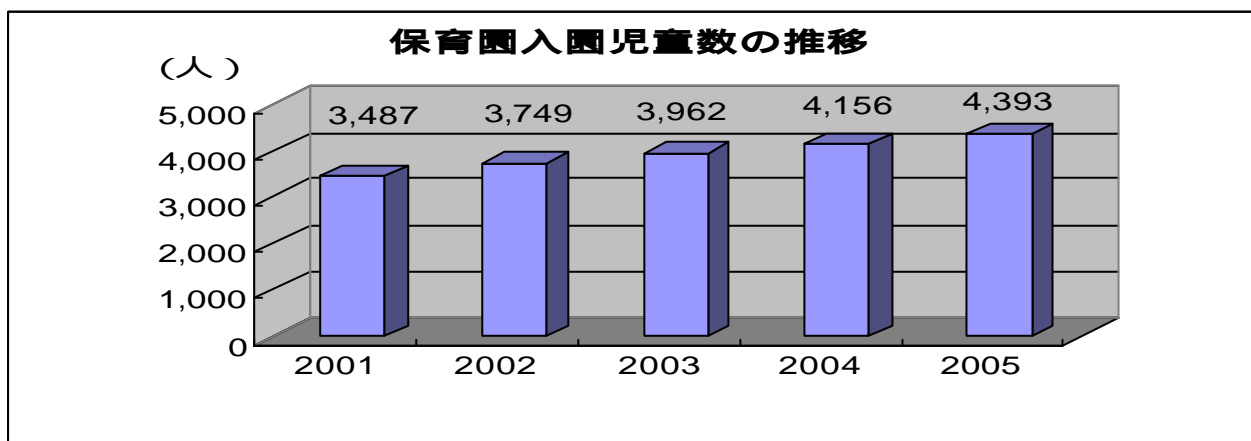
保育園は、児童福祉法に基づく児童福祉施設です。入所資格は、保護者が次の事項に該当し、その他の家族も児童の保育にあたれない「保育に欠ける」状態にある場合に限られます。

- 1) 日中、就労をしている場合
- 2) 病気(入院または療養中)の場合
- 3) 出産の場合(保育の実施期間は出産予定月とその前後2か月ずつ、計5か月以内)
- 4) 身体障害者手帳(1～4級)、愛の手帳(1～4度)を所持していて、かつ保育にあたれない場合

- 5) 長期療養中の患者、障がい者(児)の介(看)護をしている場合
- 6) 保護者がいない場合
- 7) 求職の場合(保育の実施期間は2か月まで)
- 8) 災害(火災・風水害・地震等)の復旧にあたっている場合。
- 9) 修学(通学)する場合
- 10) 高齢である場合(60歳以上)

【保育園在籍児童数の推移(各年4月1日現在)】

区分	年度	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	入園割合
法人立	2001	2,548	227	376	458	533	561	569	2,724	106.9
	2002	2,750	259	407	516	580	611	589	2,962	107.7
	2003	2,894	283	428	532	607	639	650	3,139	108.5
	2004	3,142	294	458	574	636	683	702	3,347	106.5
	2005	3,361	322	515	633	697	723	708	3,598	107.1
公立	2001	735	27	86	108	159	184	199	763	103.8
	2002	735	29	81	116	166	194	201	787	107.1
	2003	765	35	90	123	169	199	207	823	107.6
	2004	765	34	89	122	168	191	205	809	105.8
	2005	765	36	88	121	170	185	195	795	103.9
合計	2001	3,283	254	462	566	692	745	768	3,487	106.2
	2002	3,485	288	488	632	746	805	790	3,749	107.6
	2003	3,659	318	518	655	776	838	857	3,962	108.3
	2004	3,907	328	547	696	804	874	907	4,156	106.4
	2005	4,126	358	603	754	867	908	903	4,393	106.5



【保育園入所理由別児童数】

(2005年4月1日現在)

区分	居宅外労働	居宅内労働	出産・疾病・看護	就労希望等	その他	合計
入園者数(人)	3,704	237	175	156	121	4,393
構成比	84%	5%	4%	4%	3%	100%

(イ) 特別保育 (2005年4月1日現在-)

(a) 延長保育

開所時間は、午前7時から午後7時までが34園(1時間延長保育)、午前7時から午後8時までが11園(2時間延長保育)、午前7時から午後9時までが1園(3時間延長保育)、午前7時から午後10時までが1園(4時間延長保育)です。

(b) 休日保育

公立保育園1園において休日保育を実施しています。

(c) 産休明け保育

公・法人立保育園40園において産休明け保育を実施しています。

(d) 一時保育

公・法人立保育園23園において一時保育を実施しています。

(e) 子育てひろば事業

公・法人立保育園21園において子育てひろば事業を実施しています。

<子育て支援課>

認可外保育

(ア) 認証保育所

保育を必要とする方のために、東京都独自の認証保育所を開設しています。

【認証保育所一覧】

	施設名	定員	所在地
2歳まで	大野保育室	18人	能ヶ谷町98-2
	わんぱく保育室	18人	山崎町196
5歳まで	町田プチ・クレイシュ	30人	原町田6-28-19 フジビル98 1階
	にじいろ保育園サクセス町田	30人	原町田4-1-11 大塚プラザビル3階
	都市型保育園 ポポラー東京成瀬園	45人	南成瀬1-3-5 そうてつローゼン 成瀬SCアネックスビル2階

<子育て支援課>

(イ) 保育室

保育園に入園できなかった方のために、保育室と委託契約をしています。

【保育室一覧】

	保育室名	定員	住所
2歳まで	たんぼぼ保育室	11人	金井5-3-7
	こざくら保育室	12人	木曾町465-6
	共同保育室おひさま保育園	12人	野津田町2634レスポワールK2 106

<子育て支援課>

(ウ) 家庭福祉員

保育園に入園できなかった方のために、家庭福祉員制度を創設しました。2005年4月1日現在、3名の家庭福祉員がおり、家庭福祉員1名で3～5名の0～2歳児の児童を預かります。

<子育て支援課>

保育園・幼稚園への障がい児通園促進

障がいのある幼児が保育園又は幼稚園に通園することにより、障がい児と健常児とのふれあいの中で心身の発達を助長することを目的として、障がい児が入園した保育園に対しては障がい児保育加算を、また幼稚園に対しては委託料を支払っています。

【通園状況】

年度	保育園		幼稚園		合計	
	実施園	通園児数	実施園	通園児数	実施園	通園児数
2001	29	100	22	67	51	164
2002	31	126	19	64	50	182
2003	34	140	16	67	50	206
2004	36	134	17	72	53	205

<子育て支援課・子ども総務課>

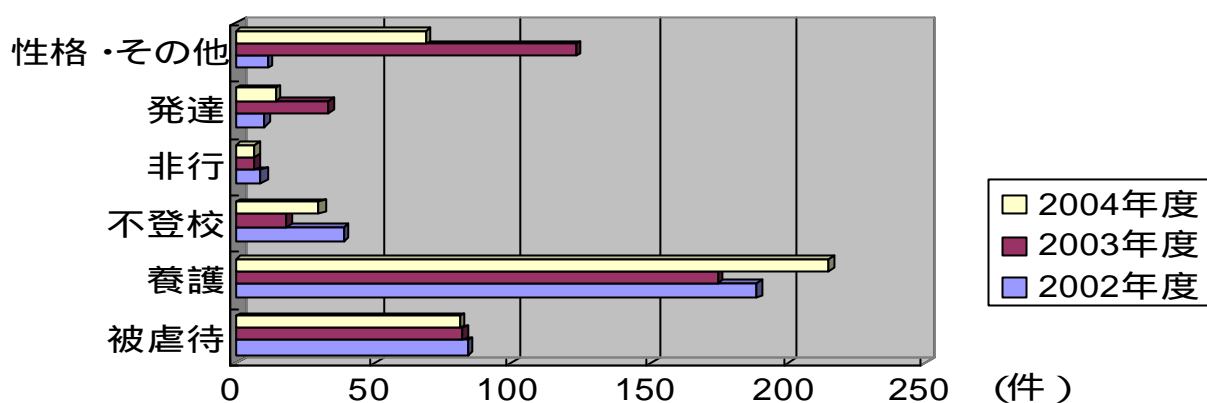
(6) 子ども家庭支援センター

子ども(18歳未満)と家庭に関するあらゆる相談に応じ、各種サービスの提供や子育てグループの育成活動を通じて、地域の子育て支援体制を築いていきます。子ども家庭在宅サービスとして、ショートステイ・トワイライトステイと産後支援ヘルパー派遣を実施しています。保護者が疾病等の社会的事由により養育することが一時的に困難になった時「子どもショートステイの家マルガリータ」でお子さんをお預かりしています。

【相談件数】

年度	被虐待	養護	不登校	非行	発達	性格・その他	計
2002	84	189	39	9	10	11	342
2003	82	175	18	7	33	123	438
2004	81	215	30	7	14	69	416

子ども家庭支援センターの相談件数（内容別）



<子育て支援課>

【ショートステイ・トワイライトステイの利用状況】

年度	ショートステイ		トワイライトステイ	
	利用人数（人）	延べ人数（人）	利用人数（人）	延べ人数（人）
2002	50	232	70	505
	72	314	46	439
2003	81	307	38	44
	81	307	38	44

<子育て支援課>

【産後支援ヘルパーの利用状況】

年度	2002	2003	2004
利用件数	8件	19件	21件

* 2002年8月から開始

<子育て支援課>

（7）その他の保育サービス

病後児保育

町田市内に住所を有する児童、または、町田市内の認可保育園に通っている児童で病気の回復期にあり、安静の確保等の理由から集団保育が困難な児童が保護者の勤務等の理由により保育及び看護が受けられない場合、専用の施設において一時預かり保育を実施しています。

【病後児保育の状況】

施設の名称	定員	所在地
保育園併設型 ・ききょう保育園病後児保育室「ひまわり」	4人	鶴川1 - 16 - 7
・小野路保育園第一分園病後児保育室「つくし組」	4人	野津田町1084 - 1
医療機関併設型 ・はやしくリニック病児保育室	4人	忠生2 - 29 - 20

年度	登録 件数 (件)	利用者数(人)		
		ききょう 保育園	小野路保 育園	はやしく リニック
2000	84	158		
2001	171	401	83	
2002	549	346	199	457
2003	638	283	146	452
2004	781	523	260	374

* 2000年度は、10月～3月の期間です。

<子育て支援課>

(8) 学童保育クラブ・子どもセンター・子どもクラブ

《学童保育クラブ・子どもセンター・子どもクラブ位置図 巻末を参照してください》

「子どもの成長・発達を促す遊びの拠点」と「核家族化・少子化が進むなかでの子育て支援」を理念として、1999年5月子どもセンター1号館「ばあん」がオープン。ばあんに次いで「子育て・子育ての拠点」として、2000年1月に「南大谷子どもクラブ」、2003年4月に「玉川学園子どもクラブこころこころ児童館」、2005年4月子どもセンター2号館「つるっこ」がオープンしました。乳幼児から高校生までが集える場として、来館者は「けがと弁当自分持ち」の精神で、自分の責任で利用しています。

学童保育クラブでは、放課後帰宅しても保護者が仕事などで子どもの世話をする人がいない家庭の、市内に在住する小学校1年生から3年生(ただし、障がいのある児童については、市長が特に必要と認めたときは6年生)までの児童を預かり、保育しています。

学童保育クラブ

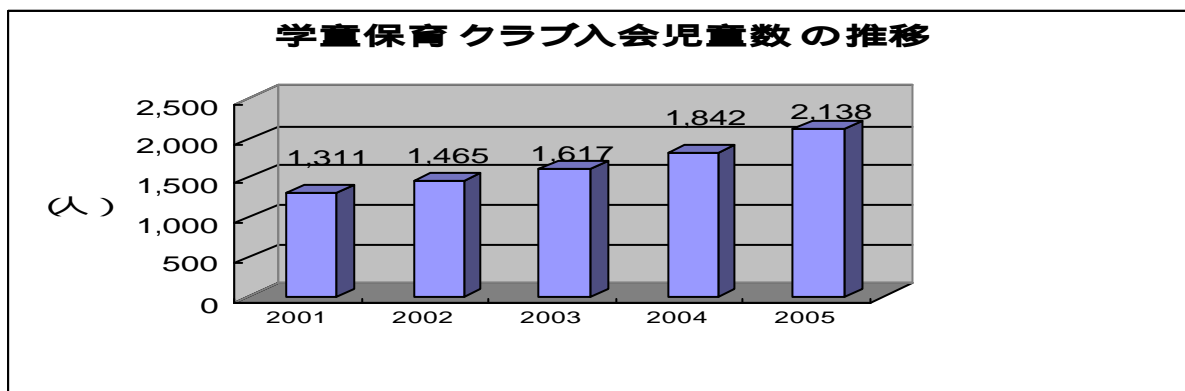
入会の条件としては、保護者(両親)が次のいずれかに該当することが必要です。

- 1) 居宅外就労・自営業・内職等に就労している。
- 2) 疾病・障がい等により保育に支障がある。
- 3) 看護・介護等に従事している。 4) 技術習得等で通学している。

【学童保育クラブ入会児童数の推移】(各年4月1日現在)

年 度	公立		公社		社会福祉協議会		委託		合計	
	クラブ数	学童数	クラブ数	学童数	クラブ数	学童数	クラブ数	学童数	クラブ数	学童数
2001	9	410	8	274			13	627	30	1,311
2002	8	407	10	399			13	659	31	1,465
2003	9	492	11	436			13	689	33	1,617
2004	8	509	11	541			13	792	32	1,842
2005	7	393			13	729	15	1,016	35	2,138

*公社(町田市学童保育公社)所管の学童保育クラブは、2005年4月に(社)町田市社会福祉協議会に移管されました。 <児童青少年課>



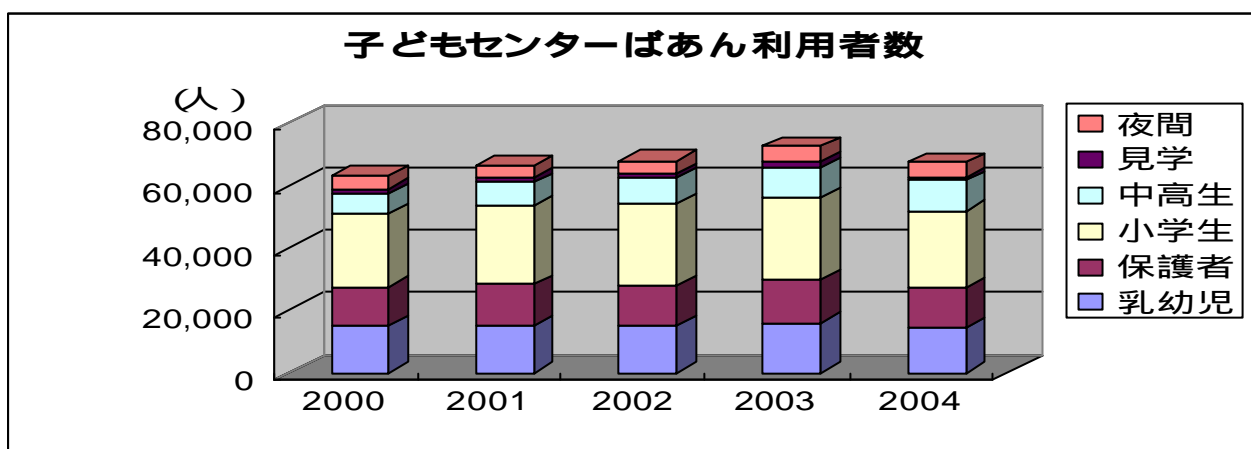
子どもセンター・子どもクラブ利用者数

1) 子どもセンターばあん(1999年5月 オープン)

【子どもセンターばあん 利用者数(延べ)】 (人)

年 度	乳幼児	保護者	小学生	中高生	見学	夜間	合計
2000	14,767	12,609	23,501	6,573	1,440	4,371	63,261
2001	15,039	13,242	25,256	7,425	1,312	4,207	66,481
2002	15,048	12,795	26,563	8,072	1,368	4,271	68,117
2003	15,817	13,668	26,455	9,956	1,678	4,799	72,373
2004	14,328	12,786	25,073	9,246	1,174	4,679	67,286

< 児童青少年課 >



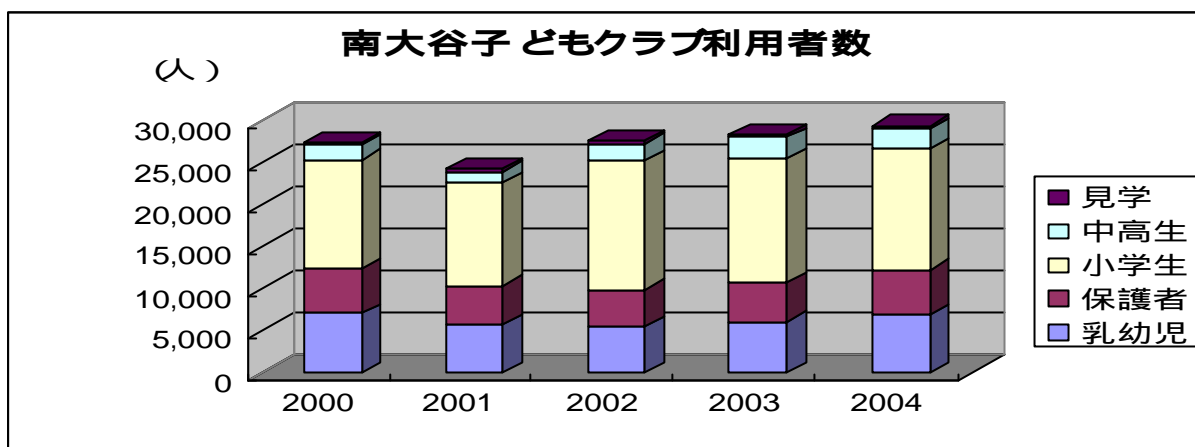
2) 南大谷子どもクラブ(2000年1月 オープン)

【南大谷子どもクラブ 利用者数(延べ)】 (人)

年 度	乳幼児	保護者	小学生	中高生	見学	合計
2000	7,002	5,435	12,983	1,770	300	27,490
2001	5,665	4,695	12,270	1,350	331	24,311
2002	5,383	4,442	15,436	2,172	263	27,696
2003	6,061	4,681	14,799	2,544	302	28,387
2004	6,803	5,363	14,528	2,324	419	29,437

* 小学生利用者数には学童保育クラブ児童も含まれます

< 児童青少年課 >



3) 玉川学園子どもクラブこころこころ児童館 (2003年4月オープン)

【玉川学園子どもクラブ こころこころ児童館利用者数(延べ)】(人)

年 度	乳幼児	保護者	小学生	中高生	見学	合計
2003	3,323	2,896	12,597	433	343	19,592
2004	2,824	2,733	14,315	732	241	20,845

< 児童青少年課 >

地域への事業

(1) 学童保育クラブ施設開放

2004年度開放学童保育クラブ

鶴川・本町田・森野・木曾学童保育クラブ

対 象：乳幼児とその保護者

(2) 子どもセンター・子どもクラブ出張事業

チビッコあそび隊

対 象：乳幼児とその保護者

出張先：ひなた村・小山センター

参加者数：616人(延べ)

のびっこあそび隊

対 象：0歳～18歳までの子ども(乳幼児は、保護者と参加)

出張先：野津田公園・芹が谷公園

参加者数：2,033人(延べ)

< 児童青少年課 >

(9) 児童に関する手当・医療助成制度

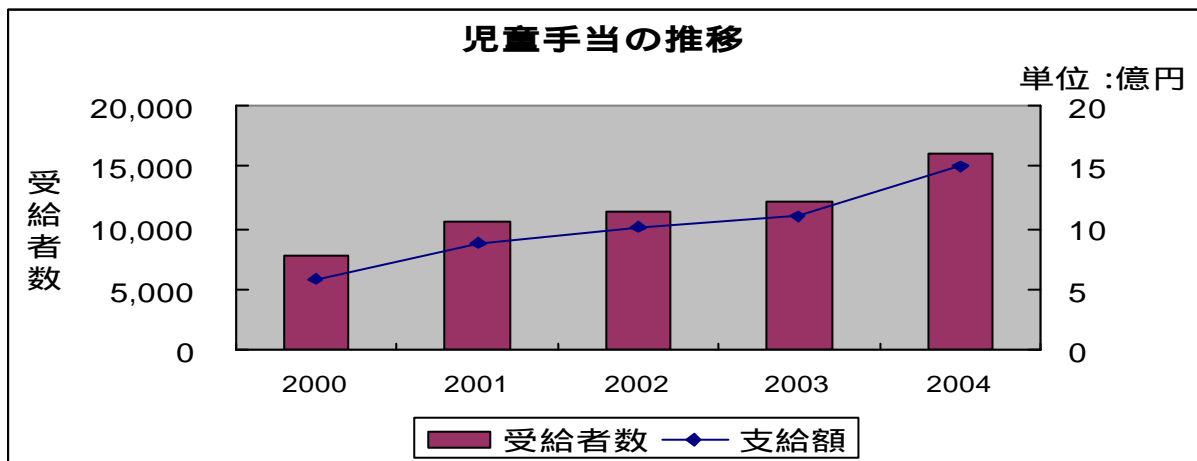
児童手当・特例給付

小学校3年までの児童を養育している人に手当を支給しています(所得制限があります)。

区分	支給月額
第1子・2子	5,000円
第3子以降	10,000円

【児童手当の支給状況】

年 度	受給者数 (人)	支給児童数 (人)	支給額 (千円)
2000	7,774	10,189	584,090
2001	10,582	13,819	8,701,050
2002	12,128	14,729	1,008,930
2003	12,160	15,783	1,088,960
2004	16,103	23,355	1,497,180



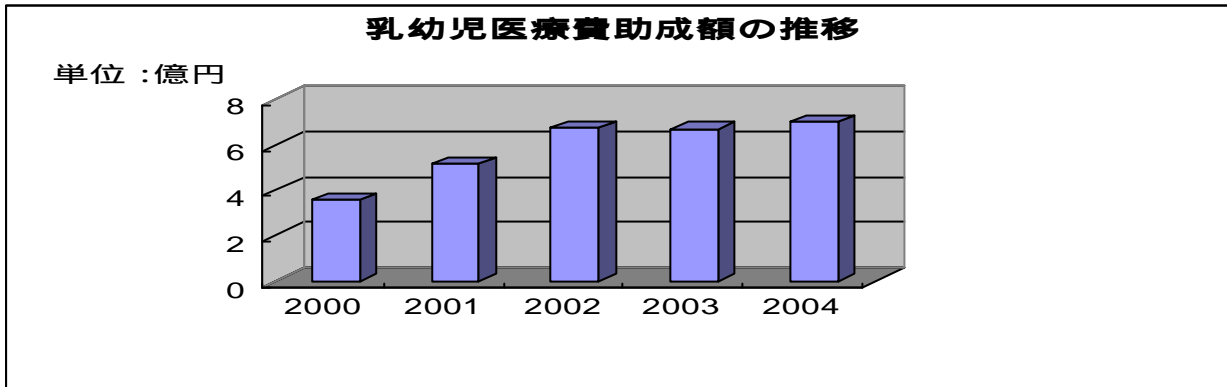
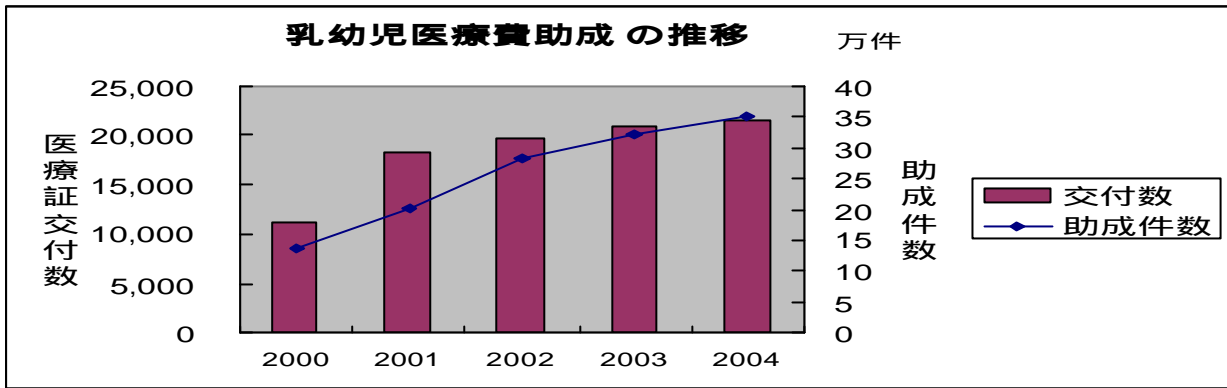
< 子ども総務課 >

乳幼児の医療費の助成

乳幼児が医療機関にかかった場合、各種健康保険による保険診療の自己負担金について助成します。対象となる方は市内在住の未就学児の乳幼児を養育する保護者で、一定の所得限度額以下の方です。ただし、3歳児までの所得制限はありません。

【乳幼児医療費助成の状況】

年 度	医療証交付数 (人)	助成件数 (件)	医療助成額 (千円)
2000	11,251	135,561	354,368
2001	18,266	200,245	513,963
2002	19,650	282,192	668,600
2003	20,747	326,402	661,465
2004	21,333	349,165	695,170



入院助産

入院して分べんする必要があるにもかかわらず、経済的理由により、その費用を支払うことが困難な妊婦に対して、助産施設に入所し安心して出産できるようにする制度です。
(前年所得税が一定額以下の世帯)

【利用状況】

年度	2000	2001	2002	2003	2004
申請者数(人)	23	31	22	32	26

<子育て支援課>

(10) ひとり親に関する手当・医療助成制度

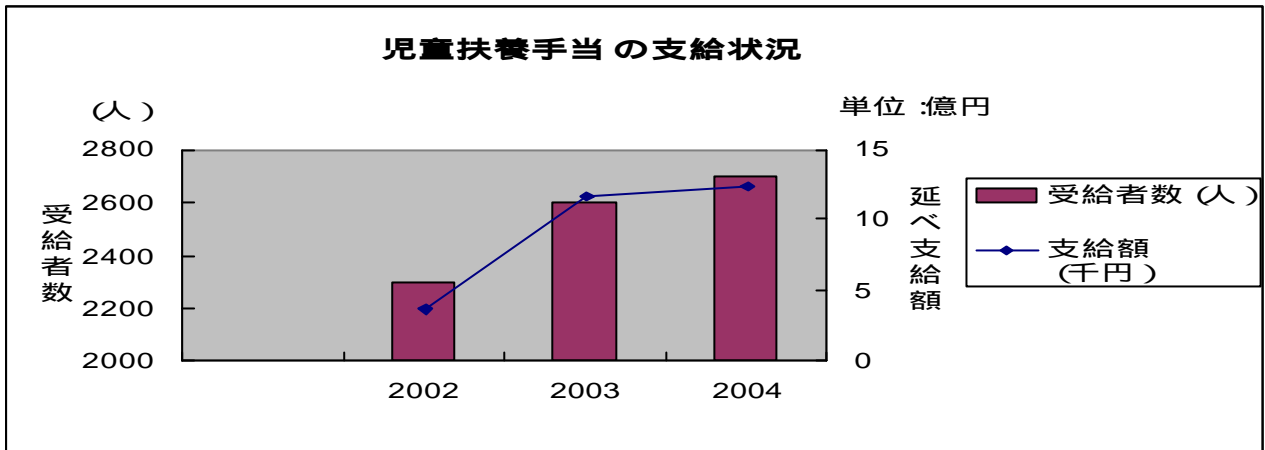
児童扶養手当

父母の離婚などにより、父と生計を同じくしていない児童を養育している母子家庭等に、手当を支給しています(所得制限があります)。

【児童扶養手当の支給の状況】

年度	受給者数(人)	支給額(千円)	手当月額(円)	
			全部支給	一部支給停止
2002	2,297	365,789	42,370	10,000 ~ 42,360
2003	2,599	1,169,240	42,000	9,910 ~ 41,990
2004	2,700	1,236,604	41,880	9,880 ~ 41,870

(2002年10月に東京都から事務移管)



< 子ども総務課 >

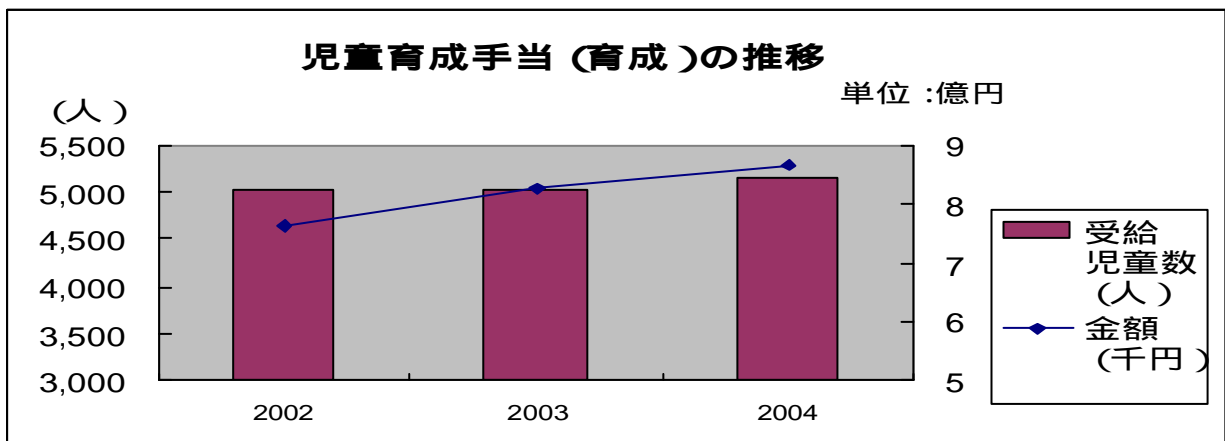
児童育成手当 (育成手当・障害手当)

母子・父子家庭、及び心身に障がいのある児童を養育している保護者に手当を支給しています (所得制限があります)。

【受給者数及び支給状況】

年度	区分	受給児童数 (人)	手当額 (月/円)	延べ児童数 (人)	金額 (千円)
2002	育成手当	5,027 (66)	13,500	56,552	824,894
	障害手当	282	15,500	3,964	
2003	育成手当	5,022 (61)	13,500	61,310	892,378
	障害手当	291	15,500	4,175	
2004	育成手当	5,165 (66)	13,500	64,239	934,499
	障害手当	301	15,500	4,342	

* () 内は、育成手当と障害手当の両方を受給している児童数



< 子ども総務課 >

ひとり親家庭等の医療費助成

父母の離婚や父または母の死亡などで、ひとり親家庭等になった場合、児童が18歳に達した日以後の最初の3月31日までの間（障がいのある児童の場合は20歳）児童を扶養するひとり親家庭等に対し、各種健康保険による保険診療の自己負担金について助成します（一部負担及び所得制限があります）。

【ひとり親家庭等への医療費助成の状況】

年 度	対象世帯数	対象者数（人）	助成件数（件）	医療助成費（千円）
2000	1,989	4,908	44,609	125,065
2001	2,104	4,729	40,011	102,982
2002	2,249	4,909	42,098	105,248
2003	2,333	5,018	46,660	117,128
2004	2,372	5,029	48,256	120,711

< 子ども総務課 >

母子生活支援施設

母子生活支援施設は、配偶者のいない女子、またはこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童（18歳未満）を入所させて保護することを目的とする施設です。市内に施設はありませんが、やむを得ない事由があるときは施設への措置を行っています。

【利用状況（各年度末現在）】

年 度	2000	2001	2002	2003	2004
世帯数	3	4	6	4	4
人 数	7	9	15	10	8

< 子育て支援課 >

母子相談

現に児童（20歳未満）を扶養している配偶者のいない女子および寡婦に対し、母子相談員が経済上の問題、児童の就学及び住宅や就職の問題等の相談とその自立に必要な指導にあたっています。

【相談内容及び件数】

年 度	生活一般	児童	生活援護	その他
2000	317	87	549	36
2001	369	103	581	14
2002	418	102	536	32
2003	417	78	574	31
2004	327	36	410	29

< 子育て支援課 >

東京都母子・女性福祉資金貸付

（ア）母子福祉資金

母子家庭の方々が経済的に自立して、安定した生活を送るために必要とする資金を貸付しています。(13種類の資金があります。) <子育て支援課>

(イ) 女性福祉資金

配偶者がいないか、配偶者がいてもその扶養を受けられない女性の方々が経済的に自立して、安定した生活を送るために必要とする資金を貸付しています。(11種類の資金があります。)

【貸付状況】

年 度	母子福祉資金		女性福祉資金	
	件 数	金額(円)	件 数	金額(円)
2000	337	148,488,340	31	15,882,950
2001	336	152,760,580	27	15,101,100
2002	318	152,187,910	20	11,198,400
2003	289	143,180,010	21	10,754,600
2004	268	130,250,560	19	11,370,300

<子育て支援課>

ひとり親家庭へのホームヘルパーの派遣

日常生活を営むのに著しく支障がある義務教育終了前の児童がいるひとり親家庭に対して、一定の期間ホームヘルパーを派遣し、日常生活の世話等を援助します。この制度は、1997年4月1日より実施しています。

【派遣状況】

年 度	利用世帯数	派遣回数(回)
2000	28	1,114
2001	57	2,224
2002	60	2,679
2003	55	2,454
2004	32	1,443

<子育て支援課>

ひとり親家庭資格取得講習受講料助成

ひとり親家庭の自立を総合的に支援するため、就労に関わる講習等を終了した方または、各学年を終了した方に専修学校等の授業料または、各種資格取得のための講習受講料の一部を助成し、ひとり親家庭の親の就労支援をします。この制度は、2001年4月1日より実施しています。

【助成状況】

年 度	2001	2002	2003	2004
利用者数(人)	12	21	38	65

<子育て支援課>

7. 障がい福祉

(1) 町田市障がい者計画（概要）

町田市では、障がいのある人もない人も、住み慣れたまちで、地域の中で、ともに安心して暮らし続けることのできるまちの実現を目指して、1972年の基本政策「車いすで歩けるまちづくり」に始まる様々な取り組みをしてきました。

しかし、近年の社会経済情勢の変化に伴い、障がい者の生活様式やニーズの多様化、障がいの重度化・重複化、高齢障がい者の増加などに対する新たな取り組みが必要となっており、障がい者施策の一層の推進を図るとともに、新たな課題に向けての取り組みを明らかにするために、1998年9月「町田市障害者計画」を策定しました。

この計画は、2005年1月に改定が行われ、2005年度に新たな「町田市障がい者計画」の検討に入りました。

< 障がい福祉課 >

(2) 障がい児・者に関する各種手当・制度

特別児童扶養手当

精神又は身体が、中程度以上の障がいの状態にある20歳未満の児童を養育している家庭に対し、支給しています（所得制限があります）。

【受給者数】

年度	受給者数 (人)	手当月額(円)	
		1級	2級
2000	477	51,550	34,330
2001	497	51,550	34,330
2002	521	51,550	34,330
2003	523	51,100	34,030
2004	543	50,900	33,900

< 子ども総務課 >

心身障害者福祉手当

身体に障がい又は知的障がい等のある方に、手当を支給しています。障がいの程度・所得額により、市制度又は都制度に分かれています。市制度の手当は、2006年7月で廃止となるため、新規の申請は受付していません。

また、市制度の手当額は、2003年度以後減額されています。

【受給者数及び支給状況】

年度	制度	受給者数 (人)	月額 (円)	支給額	
				支給延人数	金額(千円)
2000	都制度	3,545	15,500	42,615	660,532
	市制度	4,359	8,000	59,926	479,408
2001	都制度	3,603	15,500	42,756	622,718
	市制度	4,317	8,000	52,197	417,574
2002	都制度	3,679	15,500	43,608	675,924
	市制度	4,298	8,000	51,949	415,592
2003	都制度	3,747	15,500	44,640	691,920
	市制度	4,120	6,000	51,032	374,582
2004	都制度	3798	15,500	45,325	702,537
	市制度	3882	4,000	48,228	257,944

<子ども総務課>

障害児福祉手当

精神または身体に重度の障がいのある児童に、手当を支給しています(所得制限があります)。

【受給者数及び支給状況】

年度	受給者数 (人)	手当月額 (円)	支給額	
			延べ児童数	金額(千円)
2000	246	14,610	2,836	41,433
2001	256	14,610	2,961	43,260
2002	250	14,610	2,930	42,807
2003	263	14,480	3,089	44,794
2004	264	14,430	3,141	45,351

<子ども総務課>

特別障害者福祉手当

精神または身体に重度の障がいがあるため、常時介護を必要とする方に、手当を支給しています(所得制限があります)。

【受給者数及び支給状況】

年度	受給者数 (人)	手当月額 (円)	支給額	
			支給延人数	金額(千円)
2000	481	26,860	5,403	145,124
2001	540	26,860	6,187	166,183
2002	558	26,860	6,838	183,669
2003	660	26,620	7,535	200,498
2004	672	26,520	7,881	209,135

<子ども総務課>

経過的福祉手当

1986年4月1日の年金制度改正にともなう法改正の際、従来の福祉手当の受給資格者のうち、20歳以上で、特別障害者手当又は障害基礎年金の支給を受けることが出来ない方に支給しています（所得制限があります）。

【受給者数及び支給状況】

年 度	受給者数 (人)	手当月額 (円)	支給 延べ人数	金額 (千円)
2000	49	14,610	574	8,386
2001	45	14,610	527	7,699
2002	44	14,610	518	7,568
2003	38	14,480	455	6,569
2004	34	14,430	424	6,123

< 子ども総務課 >

町田市重度心身障がい児童福祉手当

身体に障がいまたは知的障がい等のある児童の生計を維持し、保護している方に、手当を支給しています。なお、2006年7月に廃止となるため、新規申請の受付はしていません。手当額は、2003年度以後減額されています。

【受給者数及び支給状況】

年度	受給者数	児童数 (人)	手当月額 (円)	延児童数	金額 (千円)
2000	144	148	8,000	1,776	14,208
2001	145	153	8,000	1,677	13,416
2002	149	149	8,000	1,726	13,800
2003	139	139	6,000	1,765	12,978
2004	116	111	4,000	1,543	8,286

< 子ども総務課 >

重度心身障害者手当

精神または身体に重度の障がいがあるため、常時複雑な介護を必要とする方に手当を支給しています。

【受給者数】

年 度	2000	2001	2002	2003	2004
受給者数(人)	487	503	504	471	465
手当月額(円)	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000

< 子ども総務課 >

東京都心身障害者扶養年金

障がい者の保護者に万一のことがあったとき、残された障がい者の将来に対し保護者の抱く不安を軽減するとともに、障がい者の生活の安定と福祉の向上を図ることを目的としています。

【加入者及び給付者数】

年 度	加入者 (人)	年金給付 者数(人)
2000	649	179
2001	640	182
2002	623	199
2003	614	200
2004	600	207

< 子ども総務課 >

(3) 町田市子ども発達センターすみれ教室

目的・沿革

すみれ教室は、心身に障がいのある就学前の乳幼児に対して、専門的な指導により、身体的・精神的な発達を助長し、基本的な生活習慣、社会への適応を図ることと、その保護者を支援することを目的としています。

その沿革は、1971年8月、心や身体にハンディキャップのある乳幼児の保護者から「市内に心身障がい児のための生活並びに訓練の場を作って欲しい」との切実な願いがきっかけとなって、同年12月「町田市心身障害児を守る会(すみれ会)」の結成と同時に、市から福祉会館の一室と機械器具の提供を受けて保護者運営の教室「すみれ教室」としてスタートし、障がいのある子どもを持つ親同士の連帯をつくる場としての役割をも果たしてきました。

その後、すみれ会から「未就学児の唯一の施設であるため一層発展させてほしい」との要望を受けて、1972年8月、旧さるびあ図書館を改造して移転し、建築面積400㎡の独立した施設になりました。1972年10月町田市療育機関として位置づけられ、職員と施設の充実を図り、1983年4月の「すみれ会館」の完成により全面移転し、親子通園施設として今日に至っています。

この30数年の間に、通園児の増加・低年齢化・幼稚園や保育園の受け入れの拡大、相談部門のニーズの増加などに対し、教室の規模は大きくなりサービス内容も多様になってきました。2004年4月、事業の一部を定員40名の措置通園部門(児童福祉法第7条に定める知的障害児通園施設)として開設し、施設の名称も「町田市子ども発達センター

すみれ教室」と改めました。

最近の動向としては、母親ボランティアの出現、兄弟保育の開始（1994年度から）
地域との交流（おもちゃの図書館）、療育セミナーや研修会の開催などが挙げられます。

園児の状況

年 度	親子通園部門（人）		相談部門 （人）
	園児数	新規入園者数	
2000	126	64	307
2001	126	76	341
2002	162	114	382
2003	162	108	398

措置通園部門の開設に伴い、2004年度からは次の3部門別に表示しています。

- ・親子通園部門：0歳から就学前までの乳幼児とその保護者を対象に、週に1～2日の頻度で1日の生活を通してグループ療育を行います。
- ・相談部門：専門職による発達相談・個別相談・就学前グループ指導を行います。また、幼稚園や保育園への相談を行います。
- ・措置通園部門：おおむね3歳から就学前までの幼児を対象に、児童福祉法に基づく知的障害児通園施設として、週5日のグループ療育活動を行います。

【親子通園部門】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前月から	34	45	45	50	54	60	70	86	94	100	107	120
新規	12	4	8	9	7	12	17	10	10	13	16	14
終了	1	4	3	5	1	2	1	2	4	6	3	2
月末計	45	45	50	54	60	70	86	94	100	107	120	132

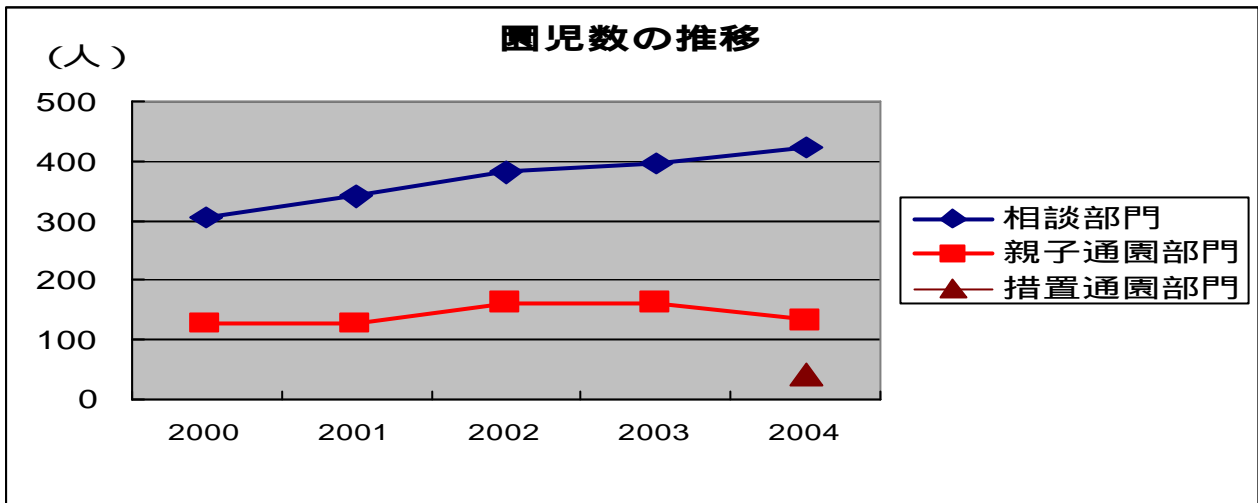
【相談部門】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前月から	323	325	333	344	352	367	374	387	400	412	418	422
新規	7	16	19	15	20	17	25	25	25	24	20	24
終了	5	8	8	7	5	10	12	12	13	18	16	22
月末計	325	333	344	352	367	374	387	400	412	418	422	424

【措置通園部門】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前月から	0	38	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
新規	38	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
終了	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
月末計	38	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40

* 年度途中での所属変更あり



< すみれ教室 >

紹介機関

【紹介機関の状況】

単位：件

相談区分 年度	市 役 所			児 童 相 談 所	保 健 所	保 育 園	幼 稚 園	医 療 機 関	療 育 機 関	知 人 等	そ の 他				計
	健 康 課	健 康 課 以 外 の 課	教 育 相 談 所								広 報 ・ パ ン フ	兄 弟 が 利 用	他	不 明	
2000	40	4	1	2	6	18	11	16	9	4			11		122
2001	52	7	2	2	4	33	30	11	3	10			21		175
2002	75	13	2	1	6	17	32	10	9	8			34		207
2003	64	13	7	0	1	25	32	25	12	19	7	14	13	19	251
2004	70	4	7	0	2	54	23	23	9	15	23	13	15	6	264

紹介機関の増加により、2003年度より「その他」の項目を細分化しました。その他の「他」には、「既知・他市県の行政機関等」が該当します。

< すみれ教室 >

退園後の状況（含：所属変更）

年度	措置通 園部門	保育園		幼稚園	就 学		転出	死亡	その他	計
		公立	私立		養護	学級				
2000		19	19	26	2	0	6	2	2	76
2001		22	22	19	4	1	4	0	6	78
2002		23	27	43	6	1	3	1	3	107
2003	38	12	23	40	6	0	1	1	4	125

親子通園部門から、各々入園、就学などで、年度全体を通しての退園後の状況を表し

ます。

*体制の変更に伴い2004年度分より次のように記載内容を改めました。

(ア) 親子通園部門

年 度	保育園		幼稚園	就学	転出	死亡	その他	計
	公立	私立						
2004	4	11	38	0	6	1	8	68

保育園・幼稚園へ行った乳幼児は、相談部門と併用

(イ) 相談部門

年 度	就学	転出	死亡	その他	計
2004	134	6	0	25	165

(ウ) 措置通園部門

年 度	保育園		幼稚園	就学	転出	死亡	その他	計
	公立	私立						
2004	3	5	3	6	0	0	0	17

保育園・幼稚園へ行った乳幼児は、相談部門と併用

< すみれ教室 >

プールの利用状況

年度	開放日数	利用者数(人)
2000	311	8,074
2001	327	8,495
2002	277	6,821
2003	321	9,668
2004	330	9,947

水～金曜日の午後と日曜日の午前は障がい児・者に開放。その他の日・時間帯は福祉施設・団体等へ開放。

< すみれ教室 >

(4) 障がい児就学相談、障がい学級

)障がい児就学相談委員会

何らかの障がいのある子どもの小学校への就学・中学校への進学にあたり、子どもの学校生活に不安を抱いている保護者と相談し、進路を決めていきます。また、就学後も状況の変化に応じた相談を受け、望ましい教育の場を考えていきます。

【障がい児就学相談実施件数】

(単位：件)

年度	小学校				中学校			
	養護 学校等	障がい 学級	通常の 学級	合計	養護 学校等	障がい 学級	通常の 学級	合計
2000	18	25	22	65	12	31	14	57
2001	6	30	30	66	10	27	18	55
2002	20	47	32	99	12	25	14	51
2003	21	43	27	91	8	42	14	64
2004	15	39	55	109	9	31	17	57

< 教育委員会指導課 >

障がい学級

児童、生徒それぞれの障がいや成長・発達の状態により、各自の能力、特性等を最大限に伸ばすために、最も望ましい教育の機会を確保できるよう努めています。

【障がい学級の児童・生徒数】

(2005年5月1日現在)

	小学校			中学校		
	学校数 (校)	学級数 (学級)	児童数 (人)	学校数 (校)	学級数 (学級)	生徒数 (人)
知的障がい(固定)	19	34	207	9	16	99
肢体不自由(固定)	2	4	21	1	1	5
情緒障がい(固定)	2	3	18	-	-	-
情緒障がい(通級)	1	4	36	2	4	38
難聴(通級)	2	2	16	1	1	6
弱視(通級)	1	1	8	-	-	-
言語障がい(通級)	2	5	81	-	-	-
合計(固定)	23	41	246	10	17	104
合計(通級)	6	12	141	3	5	44

中学校の情緒(通級)には不登校を1校含みます。

【中学校障がい学級(固定制)卒業生の進路】

(単位：件)

年度	養護 学校	都立 高等学校 (定時制)	専修 学校	職業 訓練校	福祉 作業所	就職	その他	合計
2000	26	1	0	0	0	0	0	27
2001	31	0	1	0	0	0	0	32
2002	28	1	1	0	0	0	1	31
2003	30	0	0	0	0	0	0	30
2004	26	0	2	0	0	0	0	28

< 教育委員会指導課 >

8 . 保健・医療

(1) 保健・医療の現況

保健・医療を取り巻く環境は、生活習慣に起因する疾病の増加や少子高齢化などによって大きく変化しています。

このような状況の中、保健面では生活習慣病の予防や健康づくりの支援、少子高齢化社会に対応したより細やかな保健事業を推進する必要があります。

また、医療面では要望が多い「救急の場合も安心して利用できる医療機関がある」に応える必要があります。そのために、町田市医師会・東京都町田市歯科医師会が中心となって、医療機関相互の医療連携、地域医療システム推進、インターネットによる情報提供、あるいは、町田市民病院の整備、相原・小山地区の「ふるさと21健康長寿のまちづくり計画」等、様々な施策を展開しています。

一方、介護保険法の制定によって、在宅医療、訪問看護の一層の充実が望まれており、福祉施設との連携をより一層充実する必要があります。

健康課では「健康づくり推進担当」を設け、疾病の早期発見・予防だけでなく、市民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という自覚を高め、生活に密着した実践行動に向けて幅広く健康づくりの支援を図っています。

(2) 予防接種事業

予防接種

予防接種法に基づき、生後3か月から90か月の乳幼児、小・中学生を対象に、感染症の予防及びまん延の防止を図るため、定期予防接種を実施しています。

【定期予防接種実施状況】

(人)

年度	三種混合 (百日せき・ジフテリア・破傷風)	二種混合 (ジフテリア・破傷風)	ポリオ (急性灰白髄炎)	麻しん (はしか)	風しん	日本脳炎	破傷風	合計
2000	11,659	1,791	5,160	3,205	3,608	11,160	2	36,585
2001	12,405	1,663	6,649	3,386	3,792	11,202	5	39,102
2002	14,391	1,616	6,844	3,415	3,421	12,215	2	41,904
2003	14,976	1,687	7,014	3,641	4,049	13,622	0	44,989
2004	13,772	1,782	6,987	3,512	3,851	13,917	0	43,821

< 健康課 >

ツベルクリン反応検査及びBCG接種

結核予防法に基づき、生後3か月以上4歳未満の乳幼児を対象に、結核の感染や発病を

予防するため、ツベルクリン反応検査及びBCG接種を実施しています。なお今年度は、2005年4月1日施行の結核予防法改正で、対象年齢が6か月未満に変更となるため、2004年10月及び11月生まれと4歳未満の未接種者を対象に、2005年3月に追加日程を実施しました。

【ツベルクリン反応検査及びBCG接種実施状況】(人)

年度	ツベルクリン反応検査				BCG
	接種者数	判定者数	陰性	陽性	接種者数
2000	3,085	3,054	3,045	9	3,015
2001	3,143	3,107	3,092	15	3,073
2002	3,276	3,230	3,199	31	3,186
2003	3,422	3,385	3,363	22	3,323
2004	4,213	4,177	4,152	25	4,122

< 健康課 >

予防接種助成

特別な事情等により、市外の医療機関で予防接種を受けた方に、一定額を限度に支払った費用を助成しています。

【予防接種助成実施件数・助成額状況】

(助成額：円)

年 度		三種混合 (百日せき・ジフテリア・破傷風)	二種混合 (ジフテリア・破傷風)	ポリオ (急性灰白髄炎)	麻しん (はしか)	風しん	日本脳炎
2001	件数	21	3	3	5	10	22
	助成額	89,880	11,200	8,700	31,978	60,100	82,798
2002	件数	49	5	0	15	14	27
	助成額	200,373	17,000	0	75,016	71,387	104,000
2003	件数	86	5	2	25	19	60
	助成額	354,195	15,140	6,600	153,832	125,990	221,570
2004	件数	80	6	3	26	21	59
	助成額	341,075	19,090	9,400	143,587	121,449	211,374

年 度		破傷風	ツベルクリン 反応判定料	ツベルクリン 反応検査のみ	BCG	合計
2001	件数	0	1	0	1	66
	助成額	0	1,600	0	2,600	288,856
2002	件数	0	2	0	2	114
	助成額	0	3,200	0	5,200	476,176
2003	件数	0	2	0	2	201
	助成額	0	1,818	0	3,052	882,197
2004	件数	0	3	0	3	201
	助成額	0	3,760	0	6,860	856,595

< 健康課 >

(3) 母子健康診査事業

母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届をした方に母子健康手帳を交付しています。

【母子健康手帳交付状況】

年 度	2000	2001	2002	2003	2004
妊娠届受理数(件)	3,203	3,366	3,368	3,465	3,430
母子手帳交付数(冊)	3,358	3,519	3,559	3,600	3,600

< 健康課 >

妊産婦健康診査

妊婦健康診査は妊婦及び乳児の死亡率の低下、流早死産の防止のため、産婦健康診査は妊娠中毒症対策のため実施しています。

【妊産婦健康診査受診状況】

受診者・有所見者数:(人)

年 度	妊婦健康診査1回目 (妊娠前期)*1		妊婦健康診査2回目 (妊娠後期)*2		妊婦健康診査 (妊婦超音波検査)*3		産婦健康診査 *4		
	受診者数	有所見者数	受診者数	有所見者数	受診者数	有所見者数	実施回数	受診者数	有所見者数
2000	2,110	299	1,992	928	254	25	48	2,894	15
2001	2,259	348	2,119	970	286	29	48	2,912	29
2002	2,247	328	2,097	933	281	22	49	3,150	14
2003	2,243	313	2,188	972	322	28	48	3,088	11
2004	2,401	359	2,065	758	402	40	48	3,082	19

* 1、* 2、* 3は指定医療機関で受診。

* 1...対象者は妊娠23週以下の妊婦。B型肝炎ウイルス母子感染予防も実施。

* 2...対象者は妊娠24週以上の妊婦。

* 3...対象者は満35歳以上の妊婦。

* 4...対象者は産後6か月以内の産婦。

< 健康課 >

乳幼児健康診査

乳幼児の健康増進、疾病の早期発見と保護者への育児支援を目的として、身体発育・精神発達の重要な時期に健康診査を実施し、健診のフォロー事業として、経過観察・発達健診を実施しています。

また、1歳6か月児と3歳児には歯科健康診査も実施しています。

【乳幼児健康診査受診状況】

受診者・有所見者数:(人)

年 度	3～4か月児健康診査			6～7か月児健康診査			9～10か月児健康診査		
	実施回数	受診者数	有所見者数	実施回数	受診者数	有所見者数	実施回数	受診者数	有所見者数
2000	48	2,929	1,048	指定医 療機関 で受診	2,793	255	指定医 療機関 で受診	2,597	215
2001	47	2,937	978		2,875	279		2,766	233
2002	49	3,190	1,141		3,170	283		2,956	189
2003	48	3,182	954		2,916	181		2,812	172
2004	48	3,109	861		3,171	188		3,063	128

年 度	乳幼児経過観察健康診査(*1)			乳幼児発達健康診査(*2)			1歳6か月児健康診査		
	実施回数	受診者数	有所見者数	実施回数	受診者数	有所見者数	実施回数	受診者数	有所見者数
2000	15	56	18	11	43	15	指定医 療機関 で受診	2,916	289
2001	12	63	30	12	77	34		2,943	324
2002	12	62	24	12	91	34		3,176	273
2003	12	92	68	12	102	60		3,339	227
2004	12	69	43	11	73	40		3,348	197

年 度	1歳6か月児経過観察健康診査 (心理) (*3)			3歳児健康診査			3歳児経過観察健康診査 (心理) (*4)		
	実施回数	受診者数	有所見者数	実施回数	受診者数	有所見者数	実施回数	受診者数	有所見者数
2000	62	363	165	48	2,853	453	53	269	78
2001	68	390	172	48	2,952	468	55	353	118
2002	68	386	167	49	3,209	496	54	328	92
2003	68	454	197	49	3,383	605	54	354	102
2004	68	450	190	51	3,538	533	54	374	133

* 1...健診の結果、定期的な健診を要する乳幼児。

* 2...健診の結果、運動・精神発達遅滞等が疑われる乳幼児。

* 3...1歳6か月児健診等の結果、心理面での経過観察が必要とされる幼児。

* 4...3歳児健診等の結果、心理面での経過観察が必要とされる幼児。

<健康課>

【1歳6か月児・3歳児歯科健康診査受診状況】

受診者・有所見者数:(人)

年 度	1歳6か月児歯科健康診査				3歳児歯科健康診査			
	実施回数	受診者数	虫歯のない子	虫歯のある子	実施回数	受診者数	虫歯のない子	虫歯のある子
2000	48	2,652	2,567	85	48	2,839	2,164	675
2001	48	2,715	2,631	84	48	2,932	2,246	686
2002	49	2,865	2,773	92	49	3,184	2,459	725
2003	49	3,087	2,999	88	49	3,369	2,640	729
2004	50	3,117	3,044	73	51	3,501	2,754	747

妊婦・乳幼児精密健康診査

妊婦・乳幼児健康診査の結果、診断の確定のため精密健康診査を要する場合に、専門医療機関で実施しています。

【妊婦・乳幼児精密健康診査受診状況】

(人)

年 度	妊婦 精密健康診査		乳児 精密健康診査		1歳6か月児 精密健康診査		3歳児 精密健康診査	
	受診者数	有所見者数	受診者数	有所見者数	受診者数	有所見者数	受診者数	有所見者数
2000	0	0	75	64	23	17	96	78
2001	0	0	71	53	10	10	169	99
2002	0	0	109	84	14	6	104	83
2003	0	0	93	78	17	8	175	150
2004	0	0	71	55	16	15	145	114

< 健康課 >

(4) 母子保健指導事業

幼児歯科健康診査

1歳6か月児と3歳児以外の幼児にも、歯科健康診査を通して歯科保健指導を実施しています。

【幼児歯科健康診査等受診状況】

(人)

年度	2歳児歯科健康診査				
	実施回数	受診者数	虫歯のない子	虫歯のある子	フッ素塗布
2000	32	2,048	1,897	151	1,924
2001	32	2,247	2,084	163	2,110
2002	32	2,451	2,281	170	2,279
2003	32	2,602	2,470	132	2,434
2004	35	2,455	2,331	124	2,306

年度	2歳6か月児歯科健康診査				
	実施回数	受診者数	虫歯のない子	虫歯のある子	フッ素塗布
2000	30	1,998	1,749	249	1,896
2001	32	2,022	1,781	241	1,909
2002	32	2,140	1,929	211	1,991
2003	32	2,276	2,040	236	2,011
2004	32	2,215	1,994	221	2,076

年度	3歳6か月児歯科健康診査			
	実施回数	受診者数	虫歯のない子	虫歯のある子
2000	12	849	773	76
2001	12	922	819	103
2002	12	842	753	89
2003	12	737	666	71
2004	12	743	664	79

< 健康課 >

妊婦歯科健康診査

母親学級（母性科）に参加している妊婦を対象に、歯科疾患の早期発見・治療を図るため歯科健康診査を実施しています。

【妊婦歯科健康診査受診状況】

年度	2000	2001	2002	2003	2004
実施回数（回）	12	12	12	12	12
受診者数（人）	261	261	223	273	208
有所見者数（人）	213	224	183	224	170

< 健康課 >

母親学級

妊娠、出産、育児等の知識の習得や親子の遊び、親子同士の交流を目的として、母親学級等を実施しています。

【母親学級等実施状況】

年度	母親学級（母親学級）		ママクラス クッキング		両親学級	
	日数	参加者数（人）	回数	参加者数（人）	回数	参加者数（人）
2000	72	1,639	24	199	8	340
2001	72	1,813	21	186	4	161
2002	48	1,845	19	173	4	205
2003	48	1,723	12	161	4	224
2004	48	1,573	12	134	4	182

年度	妊婦クラス		母親学級（育児学級）		
			回数	参加者数（人）	
	回数	参加者数（人）		大人	子ども
2000	48	443	57	1,969	1,998
2001	48	453	118	1,995	2,024
2002	48	549	53	881	880
2003	48	440	53	967	970
2004	48	392	51	1,223	1,229

2001年度から「両親学級」と「結婚教室」は、内容を統一して「両親学級」として実施しています。

< 健康課 >

健康教育・相談

母子の健康増進を図るため、各種講座・教室・講習会・相談等を実施しています。

【健康教育・相談実施状況】

年 度	思春期保健講座		結婚教室		離乳食講習会		幼児食講習会	
	回数	参加者数 (人)	回数	参加者数 (人)	回数	参加者数 (人)	回数	参加者数 (人)
2000	12	452	4	238	37	783	8	160
2001	10	273	-	-	36	858	9	180
2002	13	219	-	-	35	786	9	174
2003	13	440	-	-	36	859	9	186
2004	17	704	-	-	35	832	9	163

年 度	乳幼児相談		母性相談		母性保健相談・ 母乳育児相談	
	回数	相談者数 (人)	回数	相談者数 (人)	回数	相談者数 (人)
2000	96	5,001	96	427	97	348
2001	93	5,808	93	529	98	748
2002	92	5,517	92	486	100	564
2003	92	5,828	92	538	102	596
2004	93	6,171	93	537	50	335

< 健康課 >

乳幼児栄養食品支給

栄養改善指導として、栄養強化の必要な乳幼児に対し、粉乳を無償で支給しています。
なお、2003年度までは、妊産婦及び乳幼児に対し、牛乳・粉乳を支給しました。

【乳幼児栄養食品支給状況】 (人)

年 度	支給者実数			支給者数		
	牛乳	粉乳	合計	牛乳	粉乳	合計
2000	11	31	42	49	122	171
2001	16	30	46	90	116	206
2002	10	40	50	40	119	159
2003	10	38	48	40	164	204
2004	-	4	4	-	16	16

2003年度までは、妊産婦及び乳幼児に対し、牛乳・粉乳を支給。

< 健康課 >

(5) 母子保健訪問指導事業

訪問指導

必要に応じて妊産婦・新生児・乳幼児等に、訪問指導員(助産師)、保健師等が直接訪問をして、指導・相談を実施しています。なお2004年10月より未熟児訪問指導が東京都から移管されました。

【妊産婦・新生児・乳幼児訪問指導実施状況】

(人)

年 度	訪 問 対 象 者 延 べ 数							合 計
	妊婦	産婦	新生児	未熟児	乳児	幼児	その他	
2000	3	122	722	0	69	81	5	1,002
2001	12	816	787	1	72	89	3	1,780
2002	8	830	754	1	150	76	4	1,823
2003	34	786	625	1	424	508	14	2,392
2004	12	738	579	46	367	598	33	2,373

2003年8月から、乳幼児健康診査の未受診対応を始めています。また2004年10月より未熟児訪問指導が東京都から移管されました。

< 健康課 >

(6) 救急医療対策事業

市民要望の高い小児初期救急患者に対する診療を、固定式診療所で準夜帯に実施するため、町田市医師会及び近隣大学病院等の協力のもと、「町田市準夜急患こどもクリニック」を開設し、毎日診療しています。

【実施状況】

年度	小児準夜急病患者診療(1)	
	診療日数 (日)	患者数 (人)
2002	(2) 40	627
2003	366	6,891
2004	365	7,062

1...1か所(健康福社会館1階)で、診療時間はPM7:00~10:00。

2...2月の診療は祝日を除く月火木金曜日の15日間、3月の診療は祝日を除く月曜から土曜日の25日間でした。

< 健康課 >

9. 教育

(1) 教育委員会・教育目標

町田市教育委員会は、人の心を大切にする教育を基本に、創造的で知性と感性にあふれた「生涯学習社会」の実現を目指します。

そのために、学校教育と社会教育が協力し、子どもから大人まですべての市民が心身ともに健康であること、一人ひとりが個性を大切にする事、豊かな情操と国際感覚を身に付けること、自然環境を守り平和を愛すること、社会の一員として主体的に地域にかかわることを目指します。

【基本方針】

1. 人権尊重の徹底
2. 生涯学習の促進
3. 健全育成の推進
4. 学校教育の充実
5. 社会教育の充実
6. 芸術・文化・スポーツ・リクリエーションの振興

(2) 幼稚園 《幼稚園位置図：巻末を参照してください》

預かり保育

「預かり保育」は、通常の教育課程に係る教育時間の前後や長期休業期間中（春・夏・冬休み）などに、地域の実態や保護者の要請に応じて、子どもを預かる東京都の補助事業です。女性の社会活動の拡大、少子化や核家族化などに伴う同年代や異年齢の仲間と遊ぶ機会の減少、地域の人々との交流の機会の減少などにより、「預かり保育」へのニーズが高まっています。

【預かり保育の実施状況】

年 度	幼稚園数	預かり保育 実施園数	長期休業日 実施園（数）	1日平均
2002	38園	26園	夏(14)春(8)冬(8)	279人
2003	37園	27園	夏(16)春(12)冬(12)	296人
2004	36園	29園	夏(17)春(14)冬(14)	336人

町田市では、2005年度から教育時間及び預かり保育時間を合計して11時間以上、通年で開園する等の市が定める一定の条件を満たす預かり保育を実施している園に対し事業費の補助を行っています。

【預かり保育補助事業の実施状況】

年 度	幼稚園数	預かり保育 実施園数
2005	35園	5園

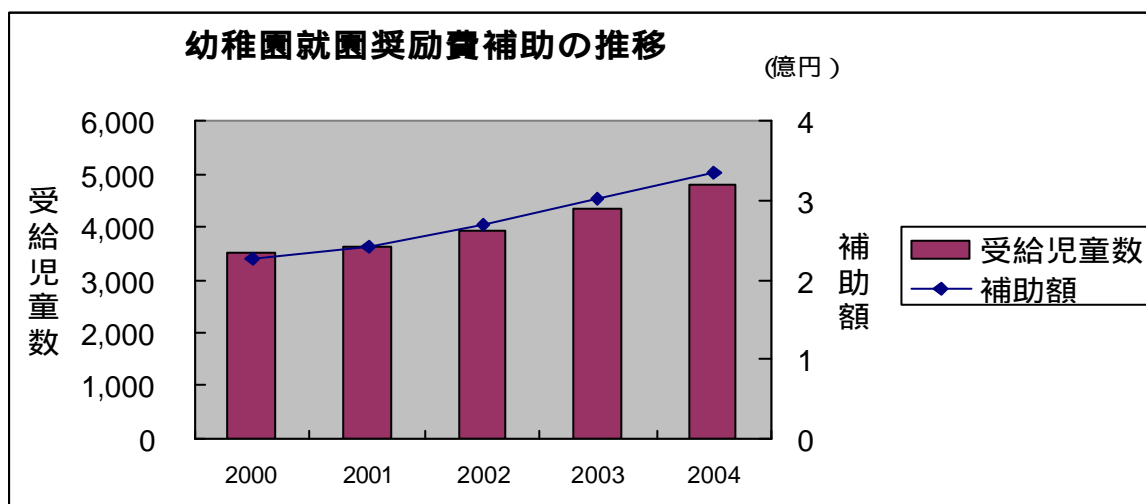
<子ども総務課>

幼稚園就園奨励費補助

私立幼稚園の設置者が、園児の保護者に対し、入園料・保育料を減免する場合に、設置者に対し補助を行っています。

【幼稚園就園奨励費補助の推移】

年 度	受 給 児 童 数 (人)		補助額 (千円)
	うち市民税 非課税(人)	うち市民税 所得割(人)	
2000	3,528	333	226,347
2001	3,643	384	243,515
2002	3,953	371	269,382
2003	4,361	416	301,475
2004	4,785	374	334,360



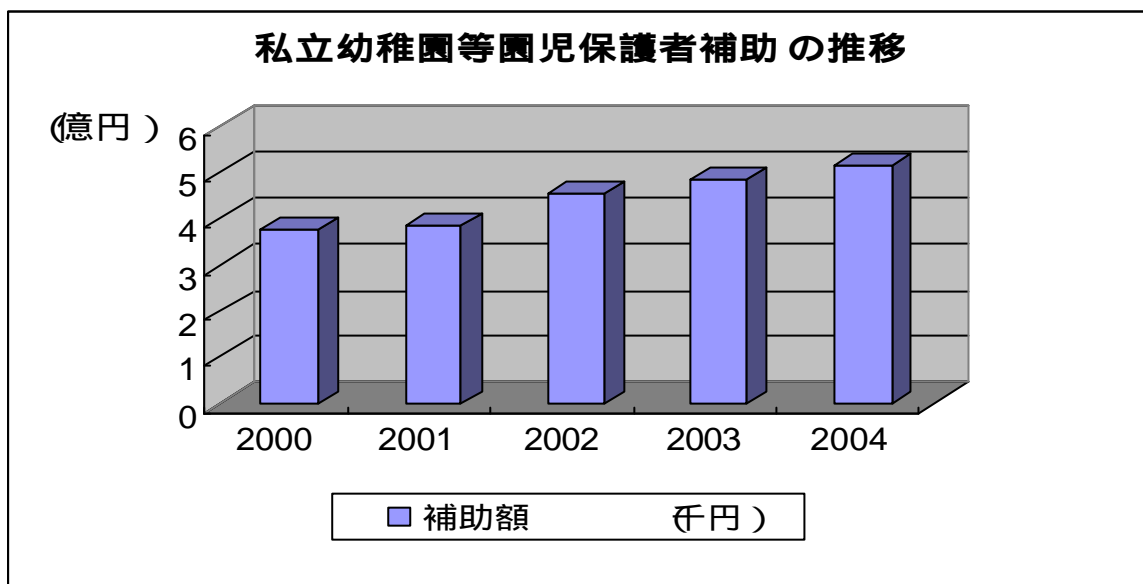
<子ども総務課>

私立幼稚園等園児保護者補助

私立幼稚園等に在籍する保護者に対して、負担を軽減し、幼稚園教育の普及と充実を図るために補助金を交付しています。

【私立幼稚園保護者補助金交付の状況】

年 度	受給者 延べ月数	市民税非課税 (延べ人数)	市民税所得割 (延べ人数)	補助額 (千円)
2000	74,169	5,172	68,997	376,621
2001	76,459	5,961	70,498	386,174
2002	81,761	5,532	76,229	453,893
2003	87,184	6,489	80,695	483,863
2004	91,906	6,259	85,647	516,313



< 子ども総務課 >

幼児教育手当

幼稚園に通園していない幼児の保護者と幼稚園に通園させている保護者間の公費負担の均衡を図ることを目的に支給しています。

【幼児教育手当支給の状況】

年 度	4 歳 児		5 歳 児	
	支給児童数 (人)	支給額 (千円)	支給児童数 (人)	支給額 (千円)
2000	27	324	26	312
2001	23	276	28	336
2002	18	216	19	228
2003	14	168	61	732
2004	31	252	49	588

< 子ども総務課 >

(3) 青少年教育事業

「おやこで あ・そ・ぼっ」

市内の6歳から小学校3年生までの子どもとその親を対象に、親子で遊びながら子どもの集団活動の意義について考える催しを実施しました。

【実施状況】

年 度	2000	2001	2002	2003	2004
回 数	4	4	4	4	4
参加者数(人)	185	177	183	200	180

< 児童青少年課 >

「子ども会ジュニアリーダー講座」

市内の子ども会のリーダーを育成するため、講習・宿泊研修を行いました。A(初級)・B(中級)・C(上級)の3コースに分け、研修内容の充実を図りました。

【実施状況】

(人)

年 度	2000	2001	2002	2003	2004
Aコース参加者数	501	529	515	500	404
Bコース参加者数	323	364	235	374	198
Cコース参加者数	223	237	177	139	197

< 児童青少年課 >

「子どもサークルリーダー研修会」

青少年団体の指導者及び指導者を目指している人を対象に青少年の育成について講義・実技をとおして考えていく講座を開催しました。

【実施状況】

年 度	2000	2001	2002	2003	2004
回 数	13	12	13	11	12
参加者数(人)	433	355	324	392	344

< 児童青少年課 >

「子どもサークルリーダー継続研修会」

子どもサークルリーダー研修会の修了者を対象にした講座を開催しました。

【実施状況】

年 度	2000	2001	2002	2003	2004
回 数	2	2	3	2	2
参加者数(人)	46	63	51	74	17

< 児童青少年課 >

「デゴイチまつり」

D51型蒸気機関車の説明・ミニSLの運行等を実施し、記念乗車券を配布しました。

年 度	2000	2001	2002	2003	2004
回 数	1	1	2	1	1
参加者数(人)	1,683	1,176	2,383	465	565

< 児童青少年課 >

「夏休み子どもフェア」**(ア) 情報提供事業**

「まちだの教育」あるいは「広報まちだ」にて特集号を組み、夏休みに行われる様々なイベントの情報を集約し、提供しました。

年 度	2000	2001	2002	2003	2004
広報誌	まちだの教育	まちだの教育	まちだの教育	広報まちだ	広報まちだ
発行日	7月9日	7月11日	7月11日	7月11日	7月11日

< 児童青少年課・教育委員会社会教育課 >

(イ) 児童青少年課主催事業

市内の小学校3年生から6年生までの子どもを対象に、五感を使った自然体験(ネイチャーゲーム)の日帰りプログラムを提供しました。

【ネイチャーゲーム実施状況】

年 度	2002	2003	2004
参加者数(人)	30	40	40

< 児童青少年課 >

(4) 青少年健全育成地区委員会

市内には24の青少年健全育成地区委員会があります。これはPTA・自治会・子ども会・各種団体等の代表者や保護司・民生児童委員で構成された地域社会の力を結集した組織です。青少年健全育成地区委員会では、青少年の健全育成をより一層推進するため、青少年問題協

議会で調整された施策に協力するとともに、各地区の実状に合った活動を年間を通じて継続的に実施しています。

< 児童青少年課 >

(5) 巡回相談員

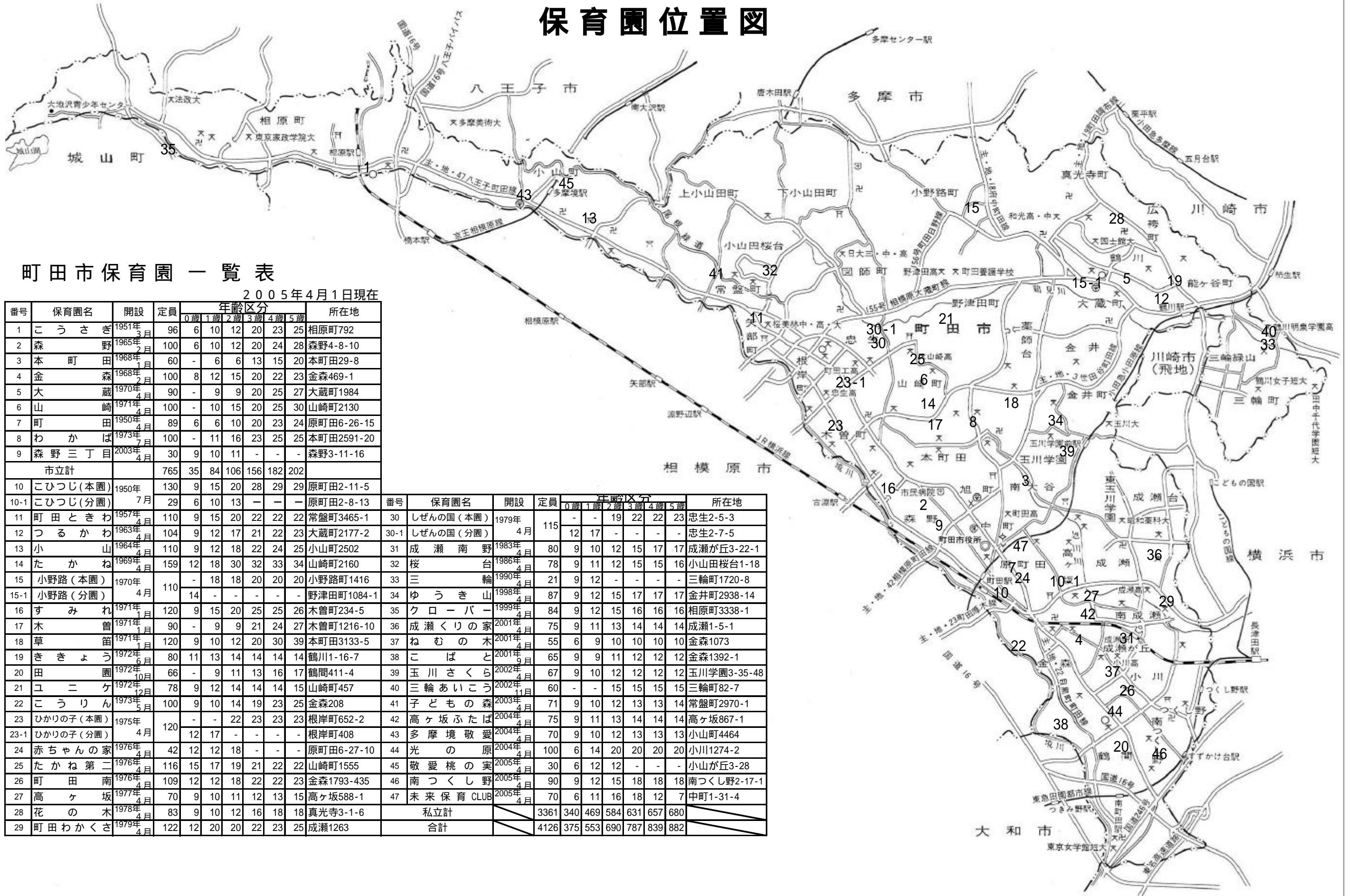
不登校などに悩む児童生徒の家庭・地域・学校を巡回し、綿密な調査により実態の把握に努めています。また、児童生徒やその保護者に対し、ケースに応じた的確な助言と指導を行うことにより児童生徒の健全育成を図りました。巡回相談員は3名です。

【巡回相談の状況】

年 度	2000	2001	2002	2003	2004
小学生		62	20	26	19
中学生		22	36	24	50

< 児童青少年課 >

保育園位置図



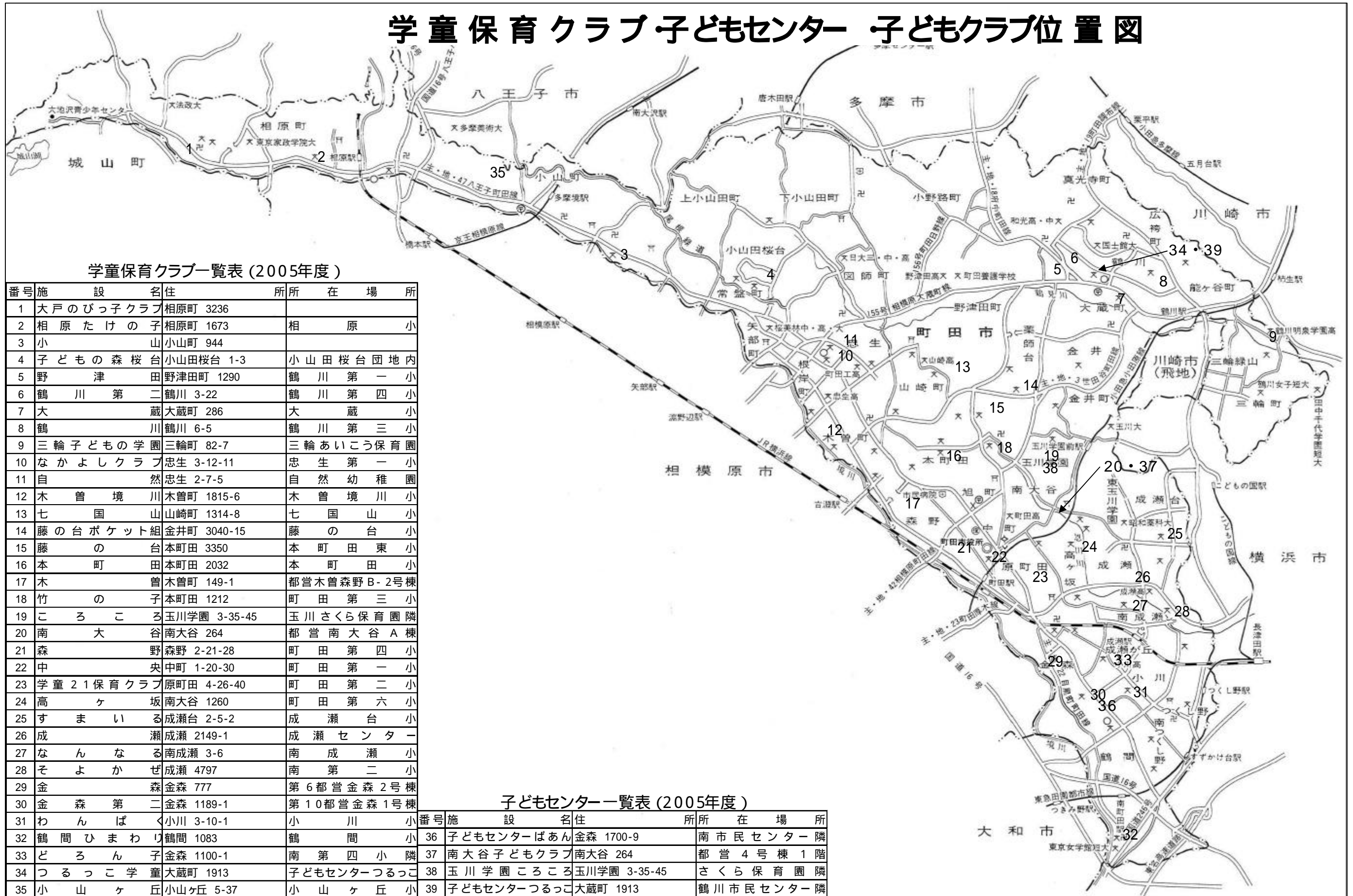
町田市保育園一覧表

2005年4月1日現在

番号	保育園名	開設	定員	年齢区分					所在地	
				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳		5歳
1	こうさぎ	1951年3月	96	6	10	12	20	23	25	相原町792
2	森野	1965年2月	100	6	10	12	20	24	28	森野4-8-10
3	本町田	1968年1月	60	-	6	6	13	15	20	本町田29-8
4	金森	1968年2月	100	8	12	15	20	22	23	金森469-1
5	大蔵	1970年4月	90	-	9	9	20	25	27	大蔵町1984
6	山崎	1971年4月	100	-	10	15	20	25	30	山崎町2130
7	町田	1950年4月	89	6	6	10	20	23	24	原町田6-26-15
8	わかば	1973年7月	100	-	11	16	23	25	25	本町田2591-20
9	森野三丁目	2003年4月	30	9	10	11	-	-	-	森野3-11-16
市立計			765	35	84	106	156	182	202	
10	こひつじ(本園)	1950年7月	130	9	15	20	28	29	29	原町田2-11-5
10-1	こひつじ(分園)		29	6	10	13	-	-	-	原町田2-8-13
11	町田ときわ	1957年4月	110	9	15	20	22	22	22	常盤町3465-1
12	つるかわ	1963年4月	104	9	12	17	21	22	23	大蔵町2177-2
13	小山	1964年4月	110	9	12	18	22	24	25	小山町2502
14	たかね	1969年4月	159	12	18	30	32	33	34	山崎町2160
15	小野路(本園)	1970年4月	110	-	18	18	20	20	20	小野路町1416
15-1	小野路(分園)		14	-	-	-	-	-	-	野津田町1084-1
16	すみれ	1971年1月	120	9	15	20	25	25	26	木曾町234-5
17	木曾	1971年1月	90	-	9	9	21	24	27	木曾町1216-10
18	草笛	1971年1月	120	9	10	12	20	30	39	本町田3133-5
19	ききょう	1972年6月	80	11	13	14	14	14	14	鶴川1-16-7
20	田園	1972年10月	66	-	9	11	13	16	17	鶴間411-4
21	ユニケ	1972年12月	78	9	12	14	14	14	15	山崎町457
22	こうりん	1973年5月	100	9	10	14	19	23	25	金森208
23	ひかりの子(本園)	1975年4月	120	-	-	22	23	23	23	根岸町652-2
23-1	ひかりの子(分園)		12	17	-	-	-	-	-	根岸町408
24	赤ちゃんの家	1976年4月	42	12	12	18	-	-	-	原町田6-27-10
25	たかね第二	1976年4月	116	15	17	19	21	22	22	山崎町1555
26	町田南	1976年4月	109	12	12	18	22	22	23	金森1793-435
27	高ヶ坂	1977年4月	70	9	10	11	12	13	15	高ヶ坂588-1
28	花の木	1978年4月	83	9	10	12	16	18	18	真光寺3-1-6
29	町田わかさ	1979年4月	122	12	20	20	22	23	25	成瀬1263
私立計			3361	340	469	584	631	657	680	
合計			4126	375	553	690	787	839	882	

番号	保育園名	開設	定員	年齢区分					所在地	
				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
30	しぜんの国(本園)	1979年4月	115	-	-	19	22	22	23	忠生2-5-3
30-1	しぜんの国(分園)		12	17	-	-	-	-	-	忠生2-7-5
31	成瀬南野	1983年4月	80	9	10	12	15	17	17	成瀬が丘3-22-1
32	桜台	1986年4月	78	9	11	12	15	15	16	小山田桜台1-18
33	三輪輪	1990年4月	21	9	12	-	-	-	-	三輪町1720-8
34	ゆうき山	1998年4月	87	9	12	15	17	17	17	金井町2938-14
35	クローバー	1999年4月	84	9	12	15	16	16	16	相原町3338-1
36	成瀬くりの家	2001年4月	75	9	11	13	14	14	14	成瀬1-5-1
37	ねむの木	2001年4月	55	6	9	10	10	10	10	金森1073
38	こばと	2001年9月	65	9	9	11	12	12	12	金森1392-1
39	玉川さくら	2002年4月	67	9	10	12	12	12	12	玉川学園3-35-48
40	三輪あいこう	2002年11月	60	-	-	15	15	15	15	三輪町82-7
41	子どもの森	2003年4月	71	9	10	12	13	13	14	常盤町2970-1
42	高ヶ坂ふたば	2004年4月	75	9	11	13	14	14	14	高ヶ坂867-1
43	多摩境敬愛	2004年4月	70	9	10	12	13	13	13	小山町4464
44	光の原	2004年4月	100	6	14	20	20	20	20	小川1274-2
45	敬愛桃の実	2005年4月	30	6	12	12	-	-	-	小山が丘3-28
46	南つくし野	2005年4月	90	9	12	15	18	18	18	南つくし野2-17-1
47	未来保育CLUB	2005年4月	70	6	11	16	18	12	7	中町1-31-4

学童保育クラブ子どもセンター 子どもクラブ位置図



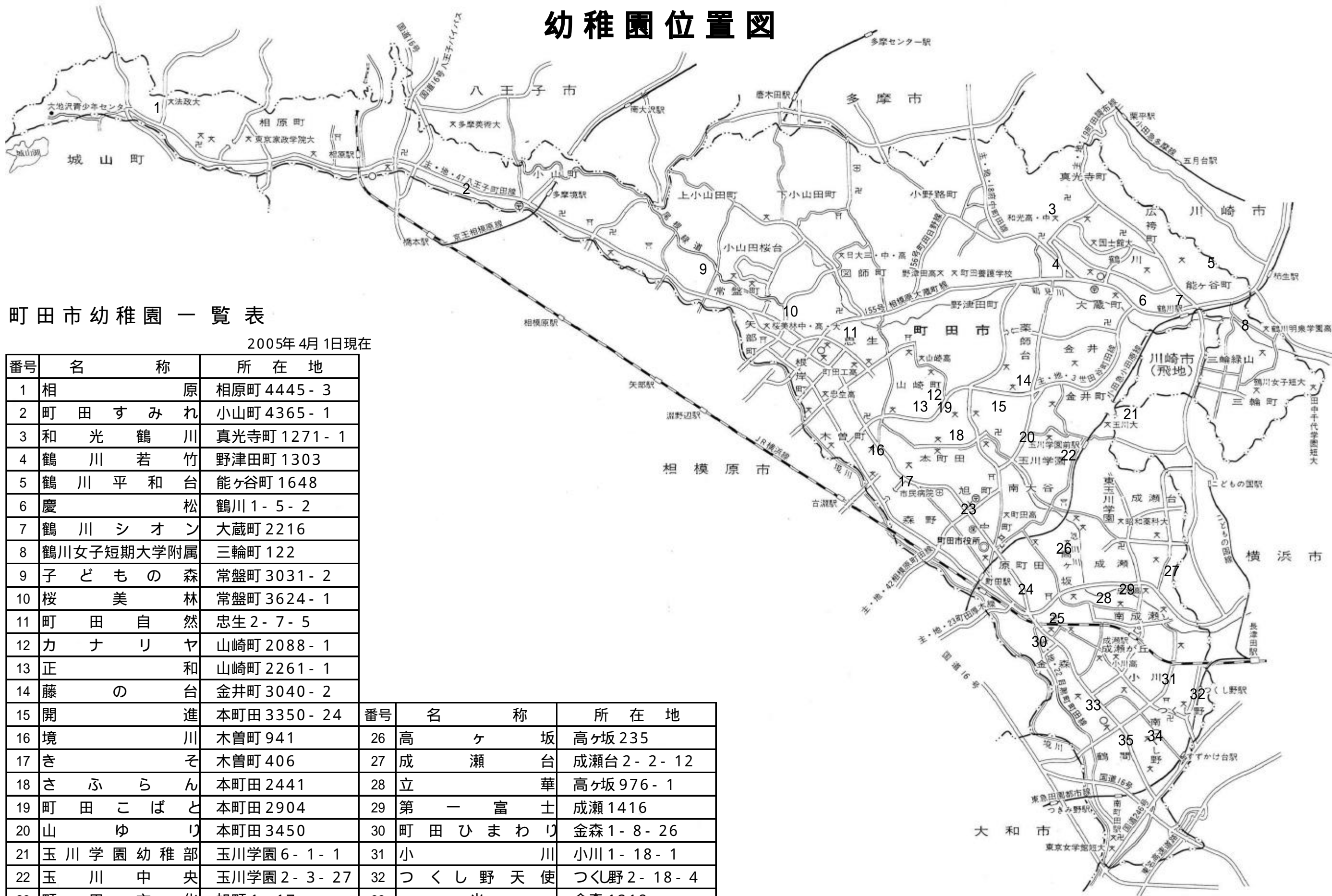
学童保育クラブ一覧表 (2005年度)

番号	施設名	住所	所在地
1	大戸のびっ子クラブ	相原町 3236	
2	相原たけの子	相原町 1673	相原小
3	小山	小山町 944	
4	子どもの森桜台	小山田桜台 1-3	小山田桜台団地内
5	野津田	野津田町 1290	鶴川第一小
6	鶴川第二	鶴川 3-22	鶴川第四小
7	大蔵	大蔵町 286	大蔵小
8	鶴川	鶴川 6-5	鶴川第三小
9	三輪子どもの学園	三輪町 82-7	三輪あいこう保育園
10	なかよしクラブ	忠生 3-12-11	忠生第一小
11	自然	忠生 2-7-5	自然幼稚園
12	木曾境川	木曾町 1815-6	木曾境川小
13	七国山	山崎町 1314-8	七国山小
14	藤の台ポケット組	金井町 3040-15	藤の台小
15	藤の台	本町田 3350	本町田東小
16	本町田	本町田 2032	本町田小
17	木曾	木曾町 149-1	都営木曾森野 B-2号棟
18	竹の子	本町田 1212	町田第三小
19	ころころ	玉川学園 3-35-45	玉川さくら保育園隣
20	南大谷	南大谷 264	都営南大谷 A棟
21	森野	森野 2-21-28	町田第四小
22	中央	中町 1-20-30	町田第一小
23	学童21保育クラブ	原町田 4-26-40	町田第二小
24	高ヶ坂	南大谷 1260	町田第六小
25	すまいる	成瀬台 2-5-2	成瀬台小
26	成瀬	成瀬 2149-1	成瀬センター
27	なんなる	南成瀬 3-6	南成瀬小
28	そよかぜ	成瀬 4797	南第二小
29	金森	金森 777	第6都営金森2号棟
30	金森第二	金森 1189-1	第10都営金森1号棟
31	わんぱく	小川 3-10-1	小川小
32	鶴間ひまわり	鶴間 1083	鶴間小
33	どろん子	金森 1100-1	南第四小隣
34	つるっこ学童	大蔵町 1913	子どもセンターつるっこ
35	小山ヶ丘	小山ヶ丘 5-37	小山ヶ丘小

子どもセンター一覧表 (2005年度)

番号	施設名	住所	所在地
36	子どもセンターばあん	金森 1700-9	南市民センター隣
37	南大谷子どもクラブ	南大谷 264	都営4号棟1階
38	玉川学園ころころ	玉川学園 3-35-45	さくら保育園隣
39	子どもセンターつるっこ	大蔵町 1913	鶴川市民センター隣

幼稚園位置図



町田市幼稚園一覧表

2005年4月1日現在

番号	名称	所在地	番号	名称	所在地
1	相原	相原町4445-3	26	高ヶ坂	高ヶ坂235
2	町田すみれ	小山町4365-1	27	成瀬台	成瀬台2-2-12
3	和光鶴川	真光寺町1271-1	28	立華	高ヶ坂976-1
4	鶴川若竹	野津田町1303	29	第一富士	成瀬1416
5	鶴川平和台	能ヶ谷町1648	30	町田ひまわり	金森1-8-26
6	慶松	鶴川1-5-2	31	小川	小川1-18-1
7	鶴川シオン	大蔵町2216	32	つくし野天使	つくし野2-18-4
8	鶴川女子短期大学附属	三輪町122	33	光	金森1218
9	子どもの森	常盤町3031-2	34	南ヶ丘	小川1546-3
10	桜美林	常盤町3624-1	35	鶴間	鶴間437
11	町田自然	忠生2-7-5			
12	カナリヤ	山崎町2088-1			
13	正和	山崎町2261-1			
14	藤の台	金井町3040-2			
15	開進	本町田3350-24			
16	境川	木曽町941			
17	きそ	木曽町406			
18	さふらん	本町田2441			
19	町田こばと	本町田2904			
20	山ゆり	本町田3450			
21	玉川学園幼稚部	玉川学園6-1-1			
22	玉川中央	玉川学園2-3-27			
23	町田文化	旭町1-17			
24	原町田	原町田3-9-16			
25	町田こひつじ	高ヶ坂1490-1			

本書に対するご意見等ございましたら、下記の子ども総務課
までお寄せください。

まちだの子ども施策 2005年度

発行年月	2006年1月
刊行物番号	05 55
発行	町田市 〒194-8520 町田市中町 1-20-23 TEL 042-722-3111 (代表)
編集	子ども生活部子ども総務課 TEL 042-724-2876 (直通)